



株式会社 東京ドーム

TOKYO DOME GROUP REPORT 2019

東京ドームグループレポート 2019





「感動」を共有し、持続的に企業価値を創出する 100年企業へ

当社グループは、いつの時代にもほかに先駆けてさまざまなレジャー施設とサービスを多くの人々に提供してきました。

今後もレジャー事業の拡大を見据え、お客様に心から楽しんでいただける安全・安心な都市型レジャーを
追い求め続けることを社会的な使命ととらえ、レジャー・サービス業の100年企業として変わることのない「感動共有」と、
次世代の新たな価値を持続的に創出していきます。

経営理念

企業目的

私たちは
人とひととのふれあいを通して
お客様と「感動」を共有し
豊かな社会の実現に貢献します

経営方針

∞ 新しい価値を創造する活力と
豊かな対話を求め ∞

- 日々新たな気持ちで仕事に取り組み、前進しよう
- 明日のさらなる発展のために、今日の目標を達成しよう
- お客様の声に耳を傾け、誠意をもってお応えしよう

安全理念

東京ドームグループは、
お客様と「感動」を共有するために、
安全を第一に考え、行動します

安全基本方針

- 安全で楽しい施設とサービスの提供を追求し続けます
- 安全について私たち自身で基準を設定し遵守します
- 安全のための教育訓練に積極的に取り組みます

Contents

TOKYO DOME GROUP REPORT 2019

02	東京ドームグループの歴史	47	財務情報
06	東京ドームグループの事業展開	48	施設別データ一覧
07	人を集める3つの力	50	会社概要／株式情報
	1. 立地力	51	グループ会社紹介
	2. イベント力		
	3. 施設力		
24	トータルソリューション		
26	ビジネスハイライト2019		
28	中期経営計画「新機軸」		
30	トップインタビュー		
36	CSR—東京ドームグループの社会的責任		



発行にあたり

「東京ドームグループレポート2019」では、東京ドームグループの事業内容や業績、持続的な企業価値創出に向けた取り組みなど、100年企業を目指す東京ドームグループの魅力を集約し掲載しています。株主・投資家の皆様をはじめ、未来のビジネスパートナーを含めたあらゆるステークホルダーの皆様が、本レポートを通じて、当社グループへのご理解を深めていただければ幸いです。

対象範囲

株式会社東京ドームおよび連結子会社

対象期間

2019年1月期（2018年2月1日～2019年1月31日）

※一部当該期間前後の内容を含みます。

発行年月

2019年7月

免責事項

当レポートに記載されている将来の計画や見込み数値などは、当社が現在入手可能な情報に基づく見通しであり、経済動向や事業環境、消費動向の影響を受けるリスクや不確実性を含んでいます。

また、営業情報は変動する場合があります。最新の情報はHPでご確認ください。
(<https://www.tokyo-dome.co.jp/>)

※金額は単位未満を切り捨て、パーセント・倍率は四捨五入して表示しています。

東京ドームグループの歴史は お客様との「感動共有」の歴史です

1936 ~1979

1936 (株) 後樂園スタジアム創立

1937 (株) 後樂園野球クラブ
(球団名 イーグルス) 設立
~1938年株式譲渡 ※1943年解散

1942 後樂園不動産(株) 設立

1946 後樂園スタジアム3階に
囲碁・将棋遊技場開場
以降、多角経営に進出

1949 東京証券取引所に株式上場登録

大阪証券取引所に株式上場登録
~2009年上場廃止

後樂園競輪場開場
~1973年都営競輪廃止後、後樂園競技場
と名称変更し夏期はプール、冬期はゴルフ練習場として営業
~1984年閉場

1959 石打後樂園スキー場、翌年10月
石打後樂園カントリークラブ開場
以降、リゾート事業に進出
~2007年事業譲渡

1962 後樂園ボウリング会館
(現・後樂園ホールビル) 全館開場

1969 進商事(株) 設立

1971 SHOP IN KORAKUEN
(現・shop in) 1号店「新宿店」開店
~1989年閉店

1973 黄色いビル開場

1977 黄色いビル別館開場



1937
後樂園スタジアム(野球場) 開場 ~1987年閉場

東京の真ん中に「後樂園球場」が誕生。
当時はもちろんのことまだ屋根のない球場で、
プロ野球全8球団の公式戦が開催されていました。



1955
後樂園ゆうえんち (現・東京ドームシティ アトラクションズ) 開場

野球以外のレジャー施設も球場の周りに次々と誕生する中、
「後樂園ゆうえんち」が開場しました。



1965
熱海後樂園 (現・熱海後樂園ホテル) 開業

「熱海後樂園」をはじめとする
レジャー施設を、日本各地で展開していきました。

当社グループの歴史は、1936年に株式会社後樂園スタジアムを創立したことから始まります。

その翌年には後樂園スタジアムが誕生。現在では世代を問わず、多種多様なニーズにお応えできるさまざまな施設を有するグループとなりましたが、始まりはたったひとつの野球場でした。

1980 ~2018

1980 (株) 後樂園ファイナンス設立
~2006年株式譲渡

1981 (株) 後樂園スポーツ
(現・(株) 東京ドームスポーツ) 設立

1985 (株) 後樂園総合サービス
(現・(株) 東京ドームファシリティーズ)
設立

(株) 大阪後樂園ホテル設立
~2002年清算

1986 大阪後樂園ホテル開業
以降、シティホテル事業に進出
~2001年閉業

1987 (株) 札幌後樂園ホテル設立

1988 札幌後樂園ホテル
(東京ドームホテル 札幌に
2011年名称変更) 開業
~2017年営業終了

1990 (株) 東京ドームに社名変更

1996 (株) 東京ドーム・
マーチャンダイジング設立

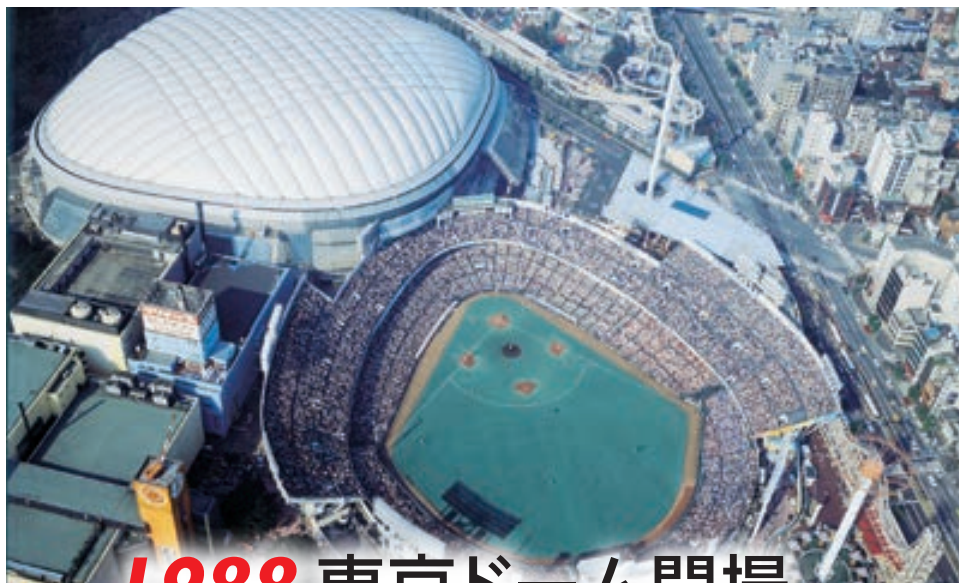
2000 東京ドームシティに名称変更

(株) 東京ドーム・リゾート
オペレーションズ設立

2004 松戸公産(株)を株式交換により
完全子会社化

2008 MEETS PORT開場

2017 Spa LaQuaリニューアル



1988 東京ドーム開場

日本初の全天候型多目的スタジアム「東京ドーム」が誕生。
雨天の心配がなくなったため、スポーツはもちろんのこと、
さまざまなビッグイベントやコンサート会場としての利用が増えました。



2003
LaQua開場

2011
ASOBONO! 開場



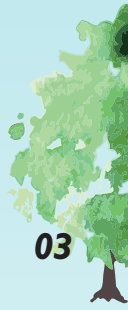
2000
東京ドーム
ホテル開業

2014
TeNQ開場

2017
Gallery AaMo開場



東京ドームを中心に“街づくり”がはじまり、2000年代には観光の拠点
「東京ドームホテル」や、エンタテインメント型融合商業施設「LaQua」
が誕生。癒しやくつろぎをテーマにした空間が生まれました。2010年
代に入ると、あらゆる世代がともに楽しめる施設を開業したことで街に
多様性が生まれ、さまざまな形でお客様と感動を共有できるようになり
ました。



2019 新たな「感動共有」の物語が始まる——。 ホテル、スパ、レストラン、フードマーケットの複合型リゾート 「ATAMI BAY RESORT KORA



熱 海で1965年から多くの方に親しまれてきた熱海後樂園ホテルは、ホテル、スパ、レストラン、フードマーケットの複合型リゾート「ATAMI BAY RESORT KORAKUEN」として生まれ変わりました。

従来のタワー館に加え、ホテル新館「AQUA SQUARE (アクア スクエア)」が誕生。多彩な客室で、ご家族・お子様連れからシングルのご利用までさまざまな宿泊スタイルにお応えします。また、熱海最大級の日帰り温泉施設「オーシャンスパ Fuua (フーア)」をはじめ、伊豆の食材とオリジナルクラフトビールが楽しめるレストラン「HARBOR'S W (ハーバーズ ダブル)」、「ラ・伊豆 マルシェ」などが集まる「IZU-ICHI (イズイチ)」を展開し、日帰りでも楽しめる新しい街として第二の歴史を歩み出します。

ATAMI BAY RESORT

KORAKUEN

KUEN」オープン

Voice

新しい熱海旅行を提案

『ATAMI BAY RESORT KORAKUEN』誕生！

熱海の地で長年営業を続けてきた熱海後樂園ホテルに、2019年3月、スパ、レストラン、フードマーケットが加わり、日帰り利用もよし、宿泊もよし、多様化する旅行形態に対応した新たな熱海の観光名所「ATAMI BAY RESORT KORAKUEN」として生まれ変わりました。熱海は、東京から1時間の好立地、絶景の海、豊かな自然、歴史ある温泉、魚介をはじめとしたグルメに恵まれた一大観光地です。宿泊客だけでなく、近年は多くの日帰り観光客が訪れており、さらに今後は女子旅、母娘旅、一人旅、インバウンドなど自由に旅行を楽しみたいお客様の増加が一層見込まれます。熱海後樂園ホテルで培ってきたサービス力と運営力に加えて、Spa LaQuaの施設づくりや東京ドームホテルにおける営業ノウハウなど、東京ドームグループならではの英知を結集した「ATAMI BAY RESORT KORAKUEN」が熱海に新しい風を起こし、街全体の活性化に貢献できればと考えています。また熱海に拠点を置く企業と連携した新鮮な地元産食材の提供も魅力のひとつです。東京では味わえないゆっくりとした時間を過ごすに、ぜひ、新たな魅力を携えた熱海へお越しください。

熱海後樂園ホテル
リニューアル
プロジェクトチーム(当時)



オリジナルクラフト
ビールを味わう

HARBOR'S W
LIVE KITCHEN × CAFE & BEER



開放的なラウンジで
リゾートを満喫

fuaa.
OCEAN SPA



日本最大級の
露天立ち湯で寛ぐ

fuaa.
OCEAN SPA



上層階客室・貸切風呂で
贅沢旅

熱海後樂園ホテル

現在、東京ドームグループは6つのセグメントで多様な事業を展開しています。

あらゆる世代のお客様に感動を届けるべく、80年にわたり進化を続けてきた当社グループは、現在6つのセグメントで事業を展開しています。グループの中核である東京ドームシティ事業をはじめ、多種多様な事業を紹介します。



東京ドームシティ事業



「東京ドーム」を中心に、「東京ドームシティ アトラクションズ」や「LaQua」などの施設を展開。多種多様なラインナップがお客様の回遊性を高め、各施設に相乗効果をもたらしています。



流通事業



最新・流行のビューティーアイテムを揃えたセレクトコスメショップ「shop in」と上質なアイテムを厳選した大人の女性のための提案型コスメショップ「Crème et Rouge」を全国で約40店舗展開しています。



不動産事業



首都圏を中心に、アドホック新宿ビルや、千葉県松戸市にあるプチモールニツ木などの商業施設、代々木や市ヶ谷にオフィスビルなどを保有し、主に賃貸および管理業を展開しています。



熱海事業



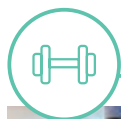
東京から新幹線で約50分の複合型リゾート「ATAMI BAY RESORT KORAKUEN」を運営。熱海後楽園ホテルに加え、日帰り温泉施設、レストラン、食のマーケットなどの施設を展開しています。



競輪事業



松戸競輪場の賃貸および競輪旅行者からの運営受託事業です。競輪場運営の豊富なノウハウにより競輪の発展に努めています。サテライト大和（宮城県）等の専用場外発売事業も行っています。



その他



スポーツ施設の直営および約200施設の運営受託、生命・損害・医療保険代理店事業、有価証券の保有・管理事業や、有線テレビジョン放送事業など幅広く事業を展開しています。

東京ドームグループの施設・サービス一覧



東京ドームシティ事業

ホール
東京ドーム
TOKYO DOME CITY HALL
後楽園ホール
PRISM HALL
シアターGロッソ
スポーツ
スポドリ！
東京ドームボウリングセンター
CuBAR LOUNGE (クーパーラウンジ)
東京ドーム ローラースケートアリーナ
TaKuSuRu (タクスル)
ホテル
東京ドームホテル
ファーストキャビン 東京ドームシティ
テナント施設
LaQua (ラクア)

MEETS PORT
後楽園ホールビル
黄色いビル
Hi! EVERY VALLEY (ハイ！エブリバレー)
アミューズメント
東京ドームシティ アトラクションズ
ASOBono! (アソボノ)
宇宙ミュージアム TeNQ (テンキュー)
ヒーローショー (シアターGロッソ)
Gallery AaMo (ギャラリー アーモ)
スパ
Spa LaQua (スパ ラクア)



流通事業
流通
shop in (ショップイン)
Crème et Rouge (クレームエルージュ)



不動産事業

テナント施設
松戸公産アドホック新宿ビル
プチモールニツ木
柿の木坂BMWビル
松戸公産市ヶ谷ビル
代々木イーストビル
相模原ビル



熱海事業

ホテル
熱海後楽園ホテル
テナント施設
IZU-ICHI (イズイチ)
スパ
オーシャンスパ Fuua (フーア)



競輪事業

競輪
松戸競輪場
サテライト大和
サテライト船橋



その他

スポーツ
フィットネスクラブ東京ドーム
後楽園スポーツクラブ調布
後楽園スイミングスクールひばりが丘
運営受託
スポーツ施設・文化施設等の運営・管理
イベント企画など

「人を動かす力」を持つ東京ドームシティは 年間約3,900万人が集う 大きな街になりました

昼夜問わず人が集まる都心という「立地」、年間を通じて開催される多彩な「イベント」、あらゆる世代を惹きつける多種多様な「施設」。東京ドームシティが持つこれら3つの「人を動かす力」は、創業以来多くの人々に魅力を提供し続けています。

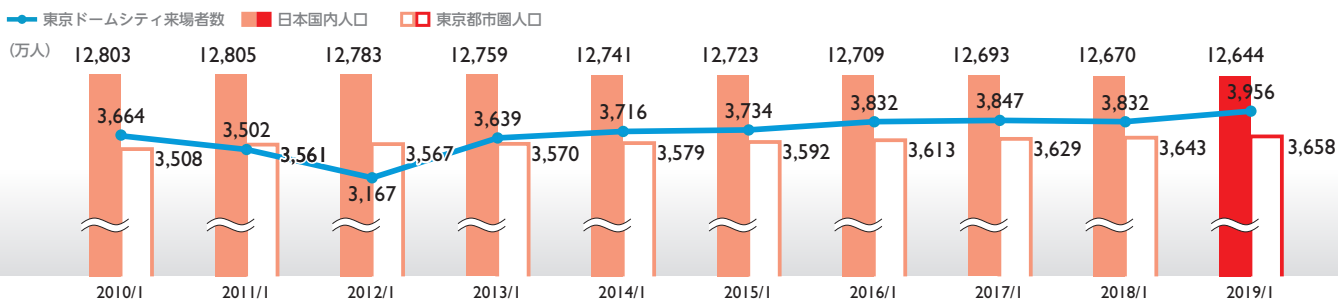


人を動かす3つの力



立地力 × イベント力 × 施設力 =

東京ドームシティ来場者数と日本国内人口・東京都市圏（東京・神奈川・千葉・埼玉）人口の推移



※日本国内人口および東京都市圏人口は、総務省統計局「人口推計」より当社各事業年度の10月1日現在より算出。

1. 立地力

レジャー、観光、ビジネスをはじめ、あらゆるニーズに対応する便利な立地です。

好アクセスの都心・文京区に立地 昼夜間あらゆる世代が集まります。

東京ドームシティは都心・文京区に広大な敷地面積を有し、隣接する千代田区、新宿区を含めた昼夜間ともにボリュームあるマーケットにはあらゆる世代の人々が集まります。東京駅から約6分、池袋駅・上野駅から約7分、新宿駅から約14分とターミナル駅からのアクセスに優れ、JR・地下鉄の計5路線が乗り入れています。幅広い種類のビッグイベントの開催場所としても大きな競争力を有しています。



新宿区

東京23区ランキング

人口^{※1} **348,804人**

園児・生徒・学生数^{※2}

総数 **4位** / 121,389人

大学生・大学院生 **3位** / 70,963人

従業者数^{※3}

4位 / 654,483人

昼間人口^{※4}

4位 / 737,252人

文京区

東京23区ランキング

人口^{※1} **223,800人**

園児・生徒・学生数^{※2}

総数 **3位** / 121,463人

高校生 **3位** / 15,925人

大学生・大学院生 **2位** / 78,085人

千代田区

東京23区ランキング

人口^{※1} **64,909人**

園児・生徒・学生数^{※2}

総数 **1位** / 170,352人

大学生・大学院生 **1位** / 135,734人

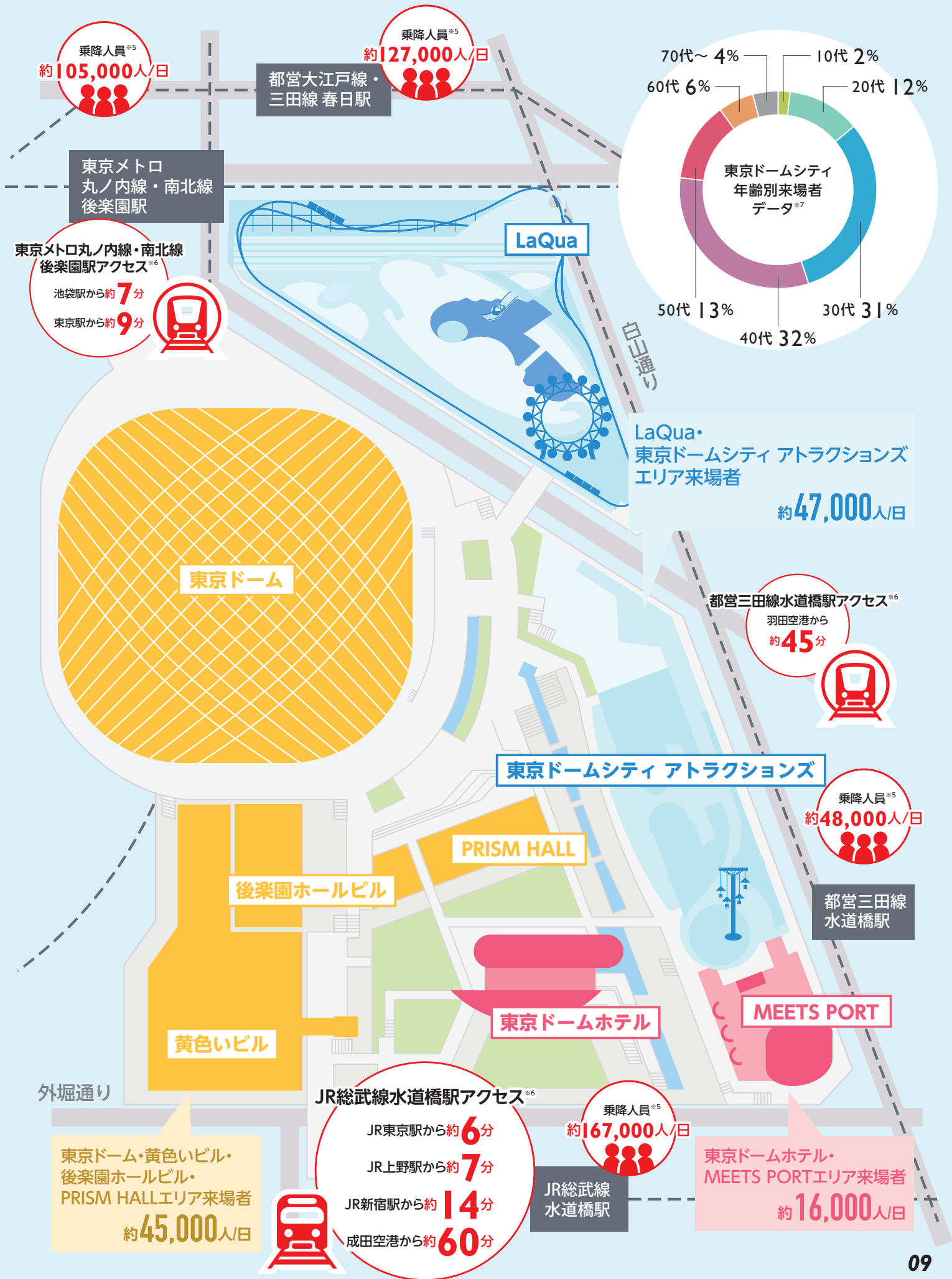
従業者数^{※3}

2位 / 952,841人

昼間人口^{※4}

3位 / 812,360人

※1 東京都「住民基本台帳人口（令和元年5月）」 ※2 文部科学省「学校基本統計（学校基本調査報告書）（平成30年度）」総数は園児・小学校・中学校・高等学校の生徒数、大学・大学院生、専修学校生の総数。 ※3 「平成26年経済センサス・基礎調査結果」（総務省統計局） ※4 東京都「区市町村別昼間人口（平成27年）」 ※5 JR東日本「各駅の乗車人員（2017年度）」、東京メトロ「各駅の乗降人員ランキング（2017年度）」、東京都交通局「各駅乗降人員一覧（2017年度）」のデータを基に作成。JR東日本は乗車人数のみ公表のため、乗車人員数を2倍し算出。 ※6 各所要時間には乗り換え時間は含まれません。 ※7 「東京ドームグループTDポイントプログラム 会員属性」より。



2. イベント力

多種多様なイベントを常開催し、老若男女問わず多くの人を集めています。

東京ドームシティならではの多彩なイベントを、年間を通じて開催しています。



東京ドームシティでは、ファミリー、カップル、シニアなどさまざまなターゲットに向けたイベントを、年間を通じて常開催しています。プロ野球やコンサート、展示会などのビッグイベントはもちろんのこと、お子様向けのアトラクションや、最新のトレンドを意識した女性向けのキャンペーン、ファミリーみんなで楽しめるご当地の食イベントから、恒例の冬のイルミネーションなど季節ごとに変わるイベントまで。オリジナル性の高いイベントで年間を通じて多くの人を集め、毎日賑わいを見せています。

春

夏

しまじろうと ゆめのヒーローランド

東京ドームシティ
GIANTS開幕祭

Wヒーロー夏祭り

わくわく!
ウォーターガーデン

卒業生いらっしやい

よりみち学割

お化け屋敷「怨霊座敷」
夏の特別演出
『怨み針の女』

東京ドームシティ
夏祭り2019



©Benesse Corporation1988-2019/しまじろう



プロ野球／その他スポーツ

大規模コンベンションの動員も増えています

ふるさと祭り東京2019



動員数 **424,000人**/10日間

毎年1月に主催する、日本の“うまい”と“元気”が集う恒例のお祭りイベント。迫力満点の山車や日本各地の屋台が集結し、演舞が連日繰り広げられます。年々動員数が増えている人気イベントです。

世界らん展2019 ー花と緑の祭典ー



動員数 **136,000人**/8日間

当社が企画・運営に参加し、毎年2月に開催する世界最大級の花と緑の祭典。約3,000種、約10万株、250万輪以上のらんが世界中から集結し、会期中は100店以上の販売ブースや多彩なイベントで賑わいます。

秋

冬

- 東京ドームシティ
ハッピー
ハロウィン
- ブドウの恵みでキレイになる
～Autumn in
Spa LaQua～
- ウルトラヒーローズEXPO 2019
ニューイヤーフェスティバル
IN 東京ドームシティ
- 東京ドームシティ
ウィンター
イルミネーション
- 東京ドームシティ
秋のおでかけ
Special
- 全国ご当地
どんぶり選手権
予選会
- 東京国際
キルトフェスティバル
ー布と針と糸の祭典ー
- テーブルウェア・
フェスティバル
～暮らしを彩る器展～



イベント／コンサート／ビジネス展示会

特別な瞬間に出会う

スポーツ、コンサート、格闘技などのビッグイベントでは、
憧れのスーパースターの生の姿や、一生に一度の「歴史的瞬間」に出会えます。
老若男女あらゆる世代に向けたイベントを、多種多様なホールで常に開催しています。

3. 施設力

世代を問わず、多様なお客様の
「心を動かす」施設が揃っています。



全天候型多目的スタジアム 東京ドーム

東京ドームシティの“顔”とも言える、日本初の全天候型多目的スタジアム。1988年の開場以来、野球をはじめとするスポーツはもちろんのこと、コンサートや展示会など年間を通じて多種多様なビッグイベントが開催されています。天候を気にすることなく、利用者も来場者も安心して使用できます。

開場	1988年
面積	建築面積／46,755㎡ グラウンド／13,000㎡
容積	124万㎡
階数	地下2階～地上6階
高さ	最高部の高さ／地上 56.19m グラウンド面からの高さ／61.69m
収容人数	野球46,000人 コンサート55,000人
年間来場者数	9,321,000人



NEWS 東京ドームの大規模リニューアルが完了

2019年プロ野球シーズンに向けて、東京ドームの人工芝を全面リニューアルしました。人工芝の張り替えは2014年3月以来5年ぶりで、今回導入する人工芝はそれをさらに改善した、耐久性と復元力に優れた人工芝となります。また、22ゲート（正面入口）内およびサンバイザー下に、デジタルサイネージを導入しました。国内初の導入となる円柱型サイネージ2台と、75型モニター12台を新設しています。



NEWS 「東京ドーム グルメストリート」がオープン

東京ドーム内1Fコンコースに、「東京ドーム グルメストリート」を2019年3月にオープンしました。新規オープン12店舗と既存12店舗が立ち並び、国際色豊かな料理・スイーツを味わうことができるグルメ満載の食の新エリアです。



3.施設力 — 特別な瞬間に出会う



PRISM HALL

最大約2,000人収容のビジネス・展示会系イベントなどさまざまな用途に対応可能なホール。年間100件以上のイベントを開催しています。

開場	1990年
面積	フロア面積／2,809㎡
高さ	天井高／5m
収容人数	2,085人

後樂園ホール

“格闘技の聖地”後樂園ホールは、リングを外せば新商品発表会やダンス競技会などに利用される最大収容人数2,005人の多目的ホールです。

開場	1962年
面積	ホール／575㎡ 展示会場／171㎡
階数	後樂園ホールビル5階～6階
収容人数	2,005人



シアターGロッソ

40年以上開催されてきたヒーローショーの準専用劇場。照明・音響の基本設備のほか最新の映像システムを完備し、ミュージカルや音楽イベントにも使われます。765人まで収容でき、研修や講演会にも対応。3層式の舞台は、イベントに応じて舞台を仕切って使用できます。

開場	2009年
階数	ジオポリス地下1階～地上1階
座席数	765席（別途、車椅子3台対応スペース有）

多機能ホール

TOKYO DOME CITY HALL

スタンディングで最大3,000人超の収容人数を誇る、都心でも類を見ない多機能ホール。臨場感と一体感にこだわった高性能の音響・照明システムを備え、コンサート、ミュージカル、映画、格闘技、ビジネスなど多様な用途に対応。常に高い稼働率を維持しています。

開場	2008年
面積	フロア面積／10,000㎡ 延床面積／12,300㎡
階数	MEETS PORT 地下3階～地上2階
収容人数	3,190人
年間イベント開催数	318回
年間ホール稼働率	108.2%



家族みんなで盛り上がる

東京ドームシティでの1日は、まずはファミリーみんなで楽しめるアトラクションから。
小さなお子様からおじいちゃん、おばあちゃんまで、みんなで盛り上がった思い出は
いつまでも記憶に残るはず。最高の思い出をつくろう！



入園無料の都心の遊園地 東京ドームシティ アトラクションズ

小さなお子様から大人まで、入園無料で1日楽しめる遊園地。センターレス大観覧車「ビッグ・オー」や最高斜度80度で急降下するジェットコースター「サンダードルフィン」など、ほかにも定期的に新アトラクションを導入し、365日営業でお客様をお待ちしています。

開場	1955年(旧・後樂園ゆうえんち)
面積	敷地面積／30,000㎡
アトラクション数	25種類
アトラクション利用者数	16,000人／日

NEWS ファミリーで楽しめる新アトラクションが登場

2019年3月、「ジオポリスゾーン」に新アトラクションをオープンしました。1周目は前向き、2周目は後ろ向きに進むという意外性満載の屋内ファミリーコースター「バックダーン」と、3Dメガネをかけて迫力ある映像と連動するシートに座り、光線銃で標的を射撃するシューティングアトラクション「ガンガンバトルーズ」の2機種です。お子様とともに、ファミリーみんなで楽しめます。



3.施設力 — 家族みんなで盛り上がる



都内最大級の 屋内型キッズ施設 ASOBono!

ファミリーで楽しめる都内最大級の屋内型キッズ施設。身体を使って遊ぶコーナーや、頭を使って楽しむゲームコーナーなど5つのエリアにわかれ、お子様の成長や性格に合わせて楽しめます。家族力がアップする仕掛け満載の施設です。

開場	2011年
面積	敷地面積／1,720㎡
プレイエリア	5箇所
対象年齢	0歳～12歳
定員	500人
年間来場者数	370,000人



東京ドーム ボウリングセンター

54レーンからなるボウリングセンター。すべてのレーンにオートスコアラシシステム、ノンガターのシステムを備え、ファミリーから企業のボウリング大会まで、幅広いニーズに対応しています。

開場	1973年
面積	延床面積／3,600㎡
階数	黄色いビル4階～5階
レーン数	54レーン

PICK UP CuBAR LOUNGE



東京ドームボウリングセンター4階にあるバーカウンター併設のボウリングスペース。仕事帰りのお客様が、バーカウンターで購入したお酒を飲みながらボウリングをお楽しみいただける、ラウンジ風のクラシックな空間です。60種以上のドリンクや、軽いフードメニューを提供します。

体を思いきり動かす

まだまだ元気が余っているなら、もっと体を思いきり動かそう！

みんなで気軽に楽しめる卓球やローラースケートから、野球やゴルフなどのスポーツに打ち込む本格派まで。とことん「いい汗」をかける施設が待っています。



遊びと学びの卓球スペース TaKuSuRu

NEW OPEN

卓球で遊ぶのも、学ぶのも、どちらも楽しめる卓球スペース。平日10時～17時は「学ぶ」場の卓球教室として、平日17時以降と土日祝日は、「遊ぶ」場の卓球スペースとして楽しめます。最新型の卓球台と卓球商品を使用し、老若男女がラリーをしながら会話を交わせる空間です。

開場	2018年
面積	87㎡
階数	黄色いビル5階

東京ドーム ローラースケートアリーナ

なめらかで最高品質なフラットリンク。思い切り滑れる！周約100mのメインリンクと、小さなお子様や初心者でも安心して楽しめるミニリンクを有する都内最大級のローラースケートリンクです。

開場	2011年
面積	フロア面積／1,600㎡
階数	黄色いビル4階
エリア	40m×24mのメインリンク、ミニリンクエリア、ダンスエリア



スポドリ！

野球、ゴルフ、ボウリングを楽しめる屋内型スポーツ施設。「スポーツ人（＝スポーツへチャレンジする人）のさまざまな想いを受け止める」をコンセプトに、インストラクターの丁寧な指導により、誰もが気軽に楽しく、また真剣にスポーツにチャレンジできる環境を提供しています。

開場	2013年
面積	フロア面積／2,600㎡
階数	黄色いビル3階
エリア	野球エリア、ゴルフエリア、ボウリングエリア、多目的フィールド

知的に楽しく学ぶ

いくつになっても、「なるほど!」という知的な好奇心は頭と心のビタミン。
ときには時間を忘れて、自分の興味や関心にじっくりひたってみるのもいいかも。
ライブ感ある体験型の施設だから、幅広い年代で楽しめる!



「宇宙を感動する」仕掛けが満載 宇宙ミュージアム TeNQ

「宇宙を感動する」というコンセプトのもと、これまでとは違った視点から「なるほど!」「もっと知りたい!」「誰かに話したい!」という知的な好奇心を刺激するミュージアム。壮大な宇宙映像が圧巻の「シアター宙」をはじめ、幅広いお客様が楽しみながら宇宙を体感できるエンタテインメント施設です。

開場 2014年
面積 フロア面積／2,600㎡
階数 黄色いビル6階
シアター宙 サイズ／直径11m、
解像度／4K×4K
上から見下ろして観覧する「映像観覧システム」と「映像表示方法」は国内特許取得済

大人のための多目的ギャラリー Gallery AaMo

エンタテインメント性とアートの融合による、「楽しさ」と「ライブ感」を体験できる大人のための「遊べる」ギャラリー。最先端のメディアアートから工芸、サブカルチャーまで、さまざまなジャンルの催事を継続的に展開しています。

開場 2017年
面積 フロア面積／830㎡
高さ 天井高／5m



「イグ・ノーベル賞の世界展」
(会期：2018年9月22日
～2018年11月4日)



「バッドアート美術館展」
(会期：2018年11月22日
～2019年1月14日)

お腹とキモチを満たす

頭と体をたっぷり使ったあとは、きっとお腹も鳴っているはず。

そこで、東京ドームシティ各所にあるレストランで、みんなで楽しく食事の時間。

お腹が満足したら、のんびりガーデン散策やショッピングはいかが？



フード&コミュニティ

Hi!EVERYVALLEY

NEW OPEN

2019年3月に黄色いビルエリアに開業。コンテナを用いた複数の飲食店を中心に、緑やアートなどに囲われた“憩い”“賑わう”フード&コミュニティです。緑あふれるガーデン空間には、ひとりでもグループでも気軽に利用できる個性的な飲食店に加え、ワクワクする仕掛けが満載です。

開業 2019年
階数 黄色いビル1階～2階
テナント数 6店舗



PICK UP その他テナント

東京ドームシティ全域に、各店の売上の最大化を見込めるテナント・ミックスを前提に、施設、エリアにふさわしいテナントを誘致しています。テナントとの共存共栄によって幅広いお客様のニーズに応える施設づくりを推進しており、テナントの成長とともに、東京ドームシティ全体の成長と価値向上を実現しています。

3.施設力 — お腹とキモチを満たす



エンタテインメント型 融合商業施設 LaQua

水をテーマに、ショップ&レストラン、アトラクション、スパの3つのゾーンが集結したエンタテインメント型融合商業施設。天然温泉が湧き出るスパと、トレンド感あるショップ&レストラン、バラエティ豊かなアトラクションは、若い女性をはじめファミリーで楽しめます。開業16周年を迎え、常に「五感を刺激する」サービスを提供し続けています。

開業	2003年
面積	敷地面積／16,000㎡ 延床面積／55,500㎡
階数	地下2階～地上9階
年間来場者数	15,290,000人
テナント年間売上高	13,678百万円
テナント数	約70店舗

3つの機能を複合化した都会のオアシス MEETS PORT

2008年、東京ドームシティと水道橋駅を結ぶ東ゲート地区に誕生。上質で多彩なショップ&ダイニングと、TOKYO DOME CITY HALL、訪れる人をやさしく迎える緑あふれるプロムナードガーデンという3つの機能を複合化した施設です。東京ドームシティ玄関口の好立地にあるため来場者数が多く、周囲や施設内のアートワークも見どころのひとつです。

開業	2008年
面積	敷地面積／ 6,579㎡ 延床面積／21,405㎡
階数	地下4階～地上5階
年間来場者数	4,180,000人
テナント年間売上高	1,921百万円
テナント数	約10店舗



心と体を癒す

休日をたっぷり過ごしたあとは、都会の真ん中の天然温泉とサウナで一日の疲れをリフレッシュ。ゆっくりくつろげるラウンジやホテルでも心と体を癒しながら、明日へのエネルギーをチャージしよう。



キャビンスタイルホテル ファーストキャビン 東京ドームシティ

NEW OPEN

2019年3月に黄色いビルエリアに開業したキャビンスタイルホテル。コンパクト&ラグジュアリーをコンセプトに、低料金ながら充実したサービスと、スタイリッシュでゆとりある客室を有する未来型ホテルです。多彩なニーズに応える3種類のキャビンで、新しいスタイルの宿泊サービスを提供します。

開業	2019年
階数	黄色いビル1階
キャビン数	ファーストクラスキャビン／15キャビン ビジネスクラスキャビン／80キャビン プレミアムエコノミークラスキャビン／36キャビン



3.施設力 — 心と体を癒す



東京ドーム天然温泉 Spa LaQua

都会の真ん中で気軽にリフレッシュできる、国内最大級の温浴施設。東京ドームシティの地下1,700mから湧き出た天然温泉、大人の楽園ヒーリング バーデ、広々としたリラクゼーションスペースに多種多様なトリートメント&ビューティサロンなどを併設。「檜風呂炭酸泉」、本格的な「フィンランドサウナ」、日本の温浴施設初の「ヴィシーシャワートリートメント」は大人気です。

開業	2003年
面積	延床面積／10,000㎡
階数	ラクーアビル5階～9階
泉質	ナトリウム塩化物強塩泉
年間来場者数	723,000人

NEWS 大人の女性の「キレイ」を叶える イベントを開催

Spa LaQuaでは、大人の女性を対象にしたイベントを随時開催。2018年には、30歳の女性をお祝いする「11月30日（イイサンジュウ）の日」キャンペーンや、緑茶の持つ高い美容効果にスポットを当てた「緑茶でもっとキレイになる」、ブドウの美容パワーでキレイをかなえる「ブドウの恵みでキレイになる」をはじめ、さまざまなイベントを開催しました。



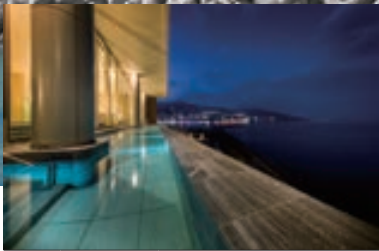
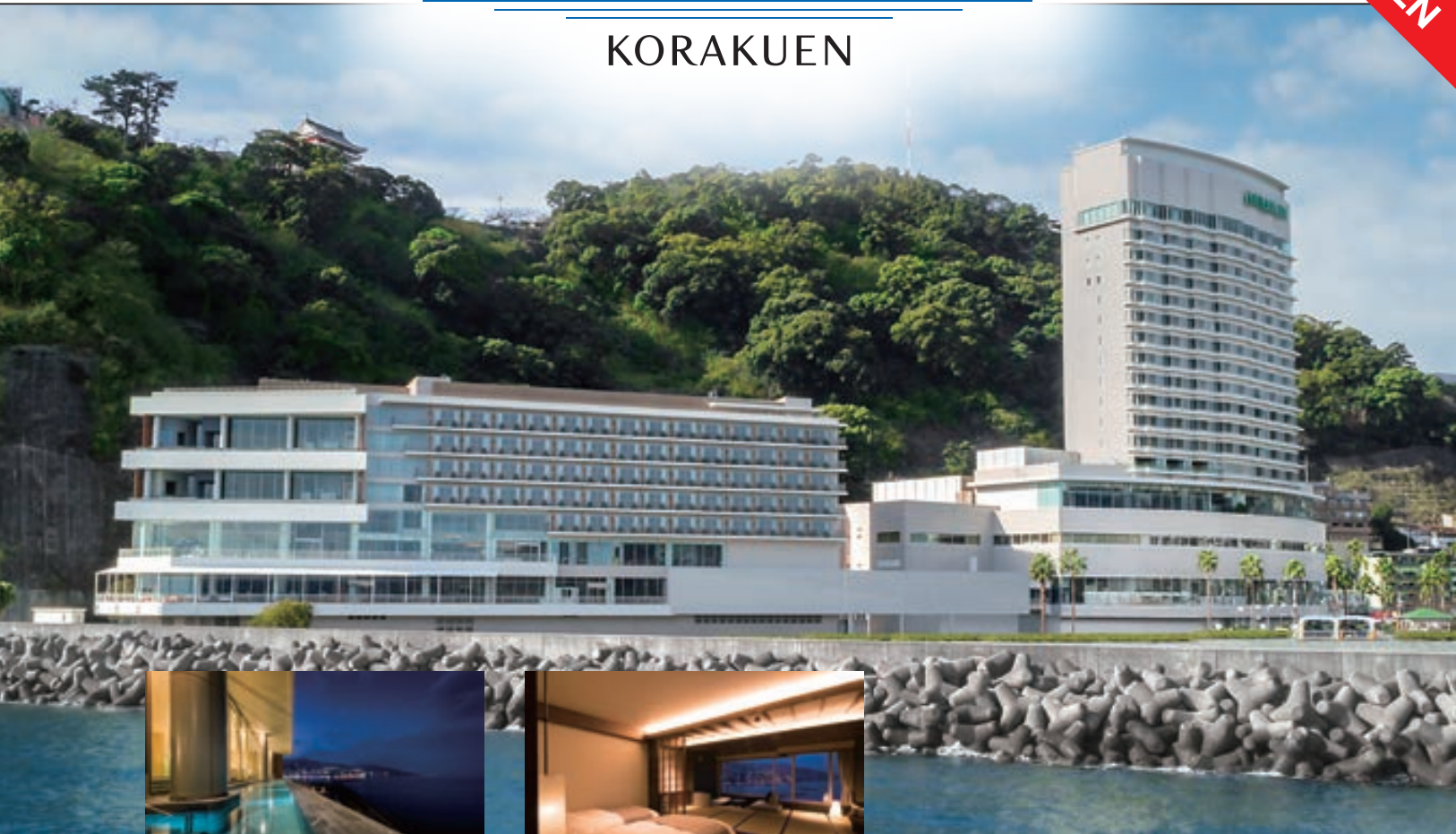
多目的に利用できるシティホテル 東京ドームホテル

多彩なレストラン・バーやオリジナリティ豊かな宴会・婚礼プラン、1,006室の客室を備えた地上43階建てのシティホテル。5つの駅に囲まれた都心のどこに行くにも便利な好立地で、観光・レジャーやビジネスの拠点として国内外問わず多くの方に利用されています。

開業	2000年
面積	敷地面積／15,865㎡ 延床面積／105,856㎡
階数	地下3階～地上43階
高さ	155m
客室	1,006室
年間客室稼働率	88.3%

ATAMI BAY RESORT

KORAKUEN



オーシャンスパ Fuua

相模灘を一望できる日帰り温泉施設。日本最大級の露天立ち湯、岩盤浴やロウリュ、海辺のテラスにいるかのような開放的な休憩エリア、カフェ、エステサロンなどを備えています。

開業 2019年
泉質 カルシウム・ナトリウム塩化物泉



熱海後楽園ホテル

贅沢な空間と眺望が人気のエクセレンシフロアを含むタワー館客室に加え、海を望めるオーシャンビュールームを含む新設客室100室を合わせたリゾートホテル。

開業 1965年 階数 地上18階
高さ 79m 客室 189室



IZU-ICHI

伊豆の美味しい食や素敵なモノが集まる活気溢れる「【市】場」。品揃えも雰囲気も伊豆「随【一】」、伊豆方面に出かけた時には「【一】番」に立ち寄りたいフードマーケットフロア。海を見ながら食事が楽しめる「HARBOR'S W」、伊豆の食物販「ラ・伊豆 マルシェ」のほかに、熱海オリジナルスイーツを販売するテイクアウトショップや、海辺のリゾートをテーマにした雑貨を扱うショップも展開しています。

開業 2019年 席数 店内/256席、テラス/30席 (HARBOR'S W)



複合型リゾート

ATAMI BAY RESORT KORAKUEN

「熱海後楽園ホテル」、日帰り温泉施設「オーシャンスパ Fuua」、伊豆の食材を楽しめるレストラン「HARBOR'S W」と伊豆周辺の美味しい食と出会えるマーケット「ラ・伊豆 マルシェ」などが集まる「IZU-ICHI」から成る複合型リゾート。日帰りでも楽しめる新しい街が誕生しました。

開業 2019年
年間来場者数見込 宿泊施設/130,000人
温泉施設/250,000人

蓄積されたノウハウを活かし、 質の高いトータルソリューションを提供しています。

当社グループでは、一般企業や自治体のお客様に対し、グループ各社が長年培ってきたイベント企画、スポーツ施設運営、施設管理などのノウハウをひとつにまとめたトータルソリューションを提供しています。さまざまなジャンルの集客イベントやスクールプログラムの企画・運営、ビル・施設などの運営・保守・管理など質の高いサービスを展開します。

イベント力 × 施設力

- イベント企画
- スポーツ施設運営
- 施設管理

トータルソリューションとして東京ドームシティ外に提供



イベント企画／提案

- あらゆる施設の豊富な管理・運営実績
- 強力な集客力

プログラム構築・人材派遣

- スポーツクラブ・スパ運営
- 専門的で経験豊かな人材
- 子育て支援施設

施設管理・維持

- ISO9001を取得した品質力
- クリーン・設備メンテナンス・セーフティ事業
- ミュージアム運営

(株) 東京ドーム

(株) 東京ドーム
スポーツ

(株) 東京ドーム
ファシリティーズ

グループの総合力で実現する

良質なサービスとコストパフォーマンス

PPP事業の取り組み

Voice 地方自治体の行政サービスに東京ドームグループのノウハウを提供

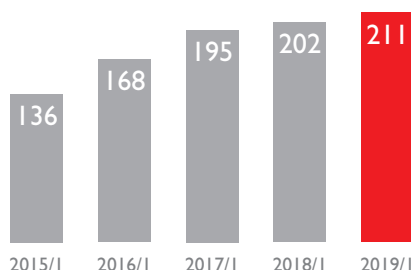
東京ドームグループのPPP事業(Public Private Partnership)では、指定管理者制度を利用した施設の運営管理受託(行政業務の代行)を行っています。質の高い行政サービスを住民に提供したいと考える地方自治体の担当者からは、東京ドームグループのPPP事業について4つの点で高く評価いただいています。①安全・安心な環境整備手法、②施設の運営管理に対して総合的な提案が可能、③東京ドームの資源を活用したイベント企画、④充実したスポーツプログラムの提供ノウハウの4点です。特に、東京ドームグループが最も多く運営管理を受託する体育館などの公共スポーツ施設では、民間フィットネスクラブを運営してきた東京ドームグループならではの健康増進や競技力向上に資する多彩なスタジオプログラムやお子様向けのスクール事業の提供が、地方自

治体や地域の利用者から大変喜ばれています。また、各現場で東京ドームグループの経営理念「私たちは人とひととのふれあいを通してお客様と「感動」を共有し豊かな社会の実現に貢献します」を実践すべく、(株)東京ドームの教育センター部と連携した研修計画等を立案・実行しています。その結果、東京ドームグループが指定管理者になって「気持ちのいい

接客を受けられるようになった」という声を数多くいただいています。

今後は民間資金やノウハウを活用して効率的な施設整備や管理運営を行うPFI方式(Private Finance Initiative)での施設運営にも積極的に取り組んでまいります。

受託施設数の推移



公共施設事業室



主な業務受託施設



➡ 武蔵野の森総合スポーツプラザ



➡ 板橋区立体育施設 22施設



➡ 天童市子育て未来館 げんキッズ

- ➡ 東京ドームスポーツセンター東久留米(東久留米市スポーツセンター) ➡ 東村山市民スポーツセンター
- ➡ 東村山市民ステーションサンパルネ ➡ 西東京市スポーツ・運動施設10施設 ➡ 文京総合体育館外6スポーツ施設
- ➡ 練馬区立中村南スポーツ交流センター ➡ 豊島区立巣鴨体育館 ➡ 豊島区IKE・Biz としま産業振興プラザ
- ➡ 流山市民総合体育館 ➡ 流山市民福祉会館・児童センター ➡ 流山市民野々下福祉会館・児童センター
- ➡ 流山市民向小金福祉会館(地域ふれあいセンター・児童センター) ➡ 松戸市小金原市民センターほか7市民センター
- ➡ 我孫子市あびこ市民活動ステーション ➡ 山形県上山市総合子どもセンター「めんごりあ」
- ➡ 南アルプス市 遊・湯ふれあい公園 後楽園スポーツクラブ ➡ 松塩地区広域施設組合「ラーラ松本」「平瀬運動公園」
- ➡ 熱海市マリンスパあたま ➡ 熱海市熱海海浜公園 ➡ 豊能町立スポーツセンター シートス ほか

▶ 東京ドームのコンサートイベント開催増などにより
売上・利益ともに期首予想を上回り着地

▶ 東京ドームと東京ドームシティ アトラクションズが、
東京ドームシティ全体の来場者数の増加を牽引

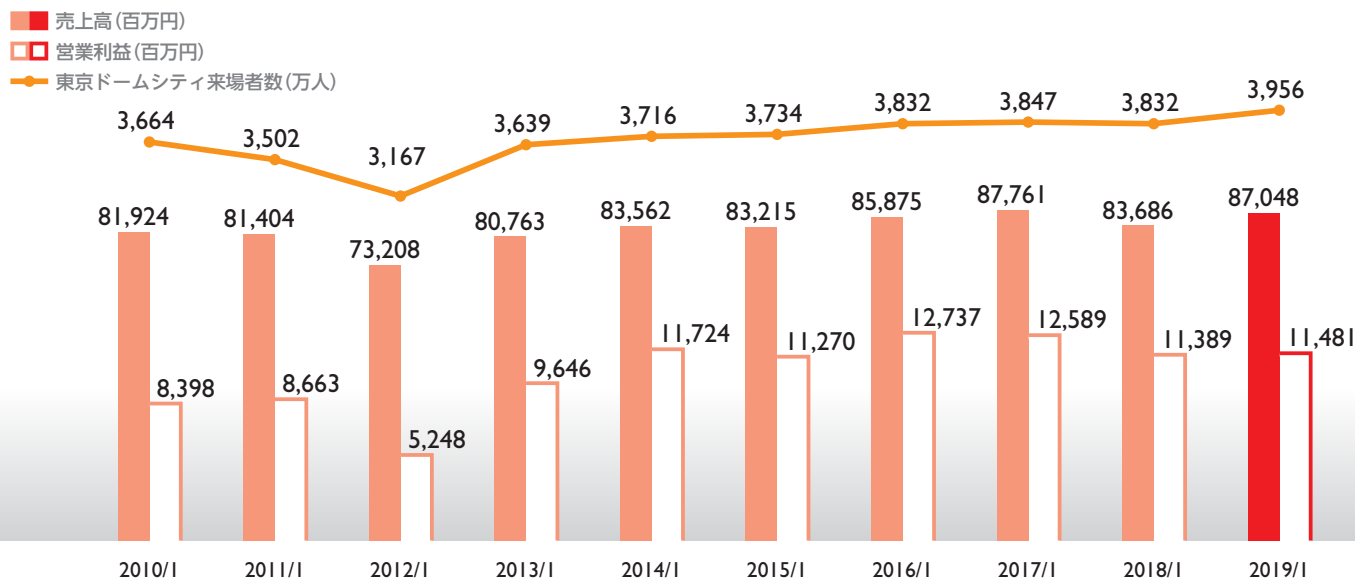
売上高	営業利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	東京ドームシティ 来場者数
87,048百万円	11,481百万円	6,962百万円	3,956万人
前期比 ▲ 4.0%	前期比 ▲ 0.8%	前期比 ▼ 14.2%	前期比 ▲ 2.7%

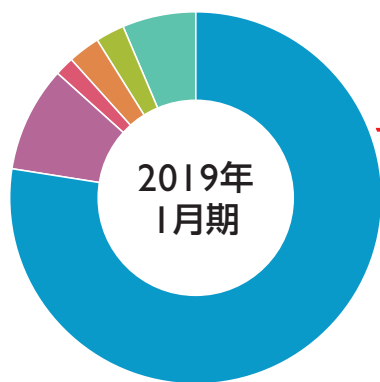
2019年1月期の概況

連結業績は、東京ドームにおけるコンサートイベントの開催増と物販の好調、2017年4月にオープンした「Gallery AaMo」の通期稼働による寄与および松戸競輪場における本場開催の増加などにより、売上高は87,048百万円(前期比4.0%増)、営業利益は11,481百万円(前期比0.8%増)となりましたが、投資有価証券売却益の減少により、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては6,962百万円(前期比14.2%減)となりました。

東京ドームシティ来場者数は、東京ドームにおけるプロ野球やイベントが活況を呈したことや東京ドームシティ アトラクションズの新規アトラクションの寄与などがあり、3,956万人(前期比2.7%増)となりました。

売上高・営業利益・東京ドームシティ来場者数の推移





事業別売上高構成比



東京ドームシティ事業 77.5%



流通事業 9.3%



不動産事業 1.8%



熱海事業 2.7%



競輪事業 2.4%



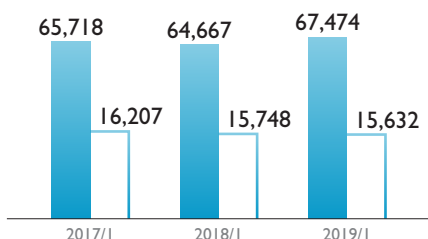
その他 6.3%

※各事業の売上高は、セグメント間取引を含んでいません。



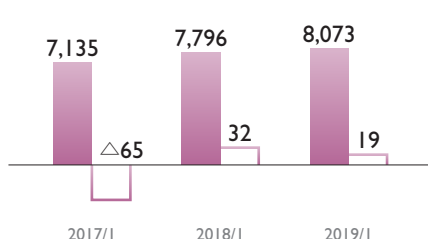
東京ドームシティ事業

■売上高 (百万円) □営業利益 (百万円)



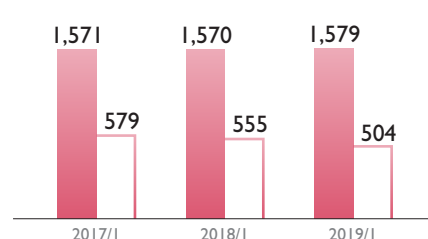
流通事業

■売上高 (百万円) □営業利益 (百万円)



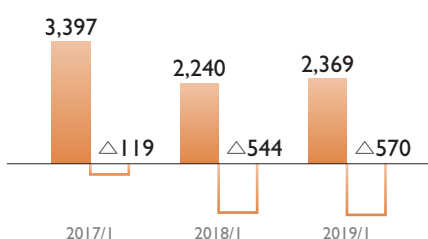
不動産事業

■売上高 (百万円) □営業利益 (百万円)



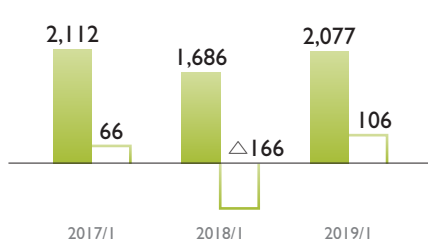
熱海事業

■売上高 (百万円) □営業利益 (百万円)



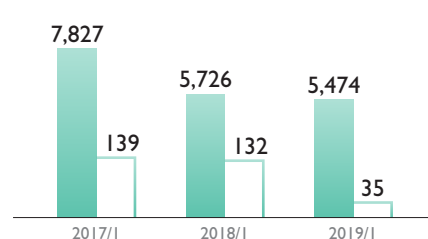
競輪事業

■売上高 (百万円) □営業利益 (百万円)



その他

■売上高 (百万円) □営業利益 (百万円)



※東京ドームホテル 札幌が2017年4月末をもって営業を終了したことに伴い、「札幌」事業は「その他」に含めております。

東京ドーム イベントジャンル別稼働日数 (日)			
	2017/1	2018/1	2019/1
プロ野球	94	92	91
その他野球	30	28	29
コンサートイベント	123	144	138
その他イベント	64	59	59
合計	311	323	317

イベントホール稼働率 (%)			
	2017/1	2018/1	2019/1
東京ドーム	85.0	88.5	86.8
TOKYO DOME CITY HALL	102.7	107.4	108.2
後樂園ホール	102.5	114.5	114.5
PRISM HALL	74.6	73.0	77.0

東京ドームホテル稼働状況 (%)			
	2017/1	2018/1	2019/1
客室稼働率	89.1	86.0	88.3
宿泊者数 (千人)	528	501	528
宴会件数 (件)	2,190	2,188	2,120
婚礼件数 (件)	248	213	229

東京ドームシティ主要施設別テナント売上 (百万円)			
	2017/1	2018/1	2019/1
LaQua (約70店舗)	13,754	13,722	13,678
MEETS PORT (約10店舗)	1,745	1,742	1,921
構内 (約30店舗)	3,847	4,031	4,374



4つの経営方針

〔基本方針〕

レジャー事業の拡大を見据えて経営資源の最適配分を進め、持続的に企業価値を創出する100年企業を目指す。

〔投資方針〕

安定的な収益基盤の底上げに向けて、平均的な年間の投資規模を「起動」から拡大する。さらに、ピークアウト事業およびノンコア事業も含め、多元的に評価した事業性に基づき、資産の入れ替えを推進する。

〔財務方針〕

よりキャッシュ・フローを重視する経営を行い、投資は利益の範囲内で積み上げる。

〔株主還元方針〕

経営環境の変化に関係なく株主への還元を安定化させるために、「安定配当」と「収益連動配当」の二段階の株主還元方式を導入する。

「新機軸」では、**4つの経営方針のもと、4つの経営目標**の達成を目指す

4つの経営目標

収益性の向上

2021年1月期の
連結営業利益
130億円

財務体質の改善

2021年1月期の
連結有利子負債残高
1,390億円

資本運用の効率性

2021年1月期の
連結ROA(総資産経常利益率) 4%、
連結ROE(自己資本利益率) 6%

安定配当と収益に 連動した配当

1株当たり12円
+業績連動α

経営目標の達成に対し、**8つの経営課題**を設定

8つの経営課題

1 東京ドームシティ事業の利益水準の維持と拡大

2 新たな成長戦略の研究開発と、
東京ドームシティ事業以外の既存事業の成長

3 人手不足への対応

4 「安全文化」の浸透・保持

5 コーポレートガバナンス・コードと
スチュワードシップ・コードへの対応

6 「東京オリンピック・パラリンピック」
「訪日外国人のお客様」への対応

7 人口動態の変化に伴う消費行動の変容への対応

8 グループ経営体制の強化

8つのアクションプラン

1 東京ドームシティに、将来にわたり持続的に価値を
もたらすための環境整備に取り組みます。

2 熱海後楽園ホテルのリニューアルに取り組みます。

3 東京ドームシティ内外において、新規事業の追求
および新規顧客の獲得を目指します。

4 東京ドームシティ外の既存事業の
事業性の維持と向上を目指します。

5 グローバル化・ユニバーサル化を視野に入れた
環境整備に取り組みます。

6 いつも安全・安心な環境を
保ち続けることに取り組みます。

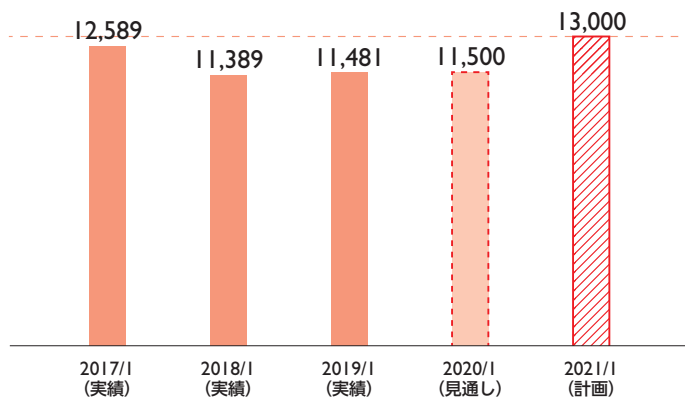
7 人的資源の獲得・育成に取り組みます。

8 グループ経営体制の再構築に取り組みます。

経営目標の推移と計画

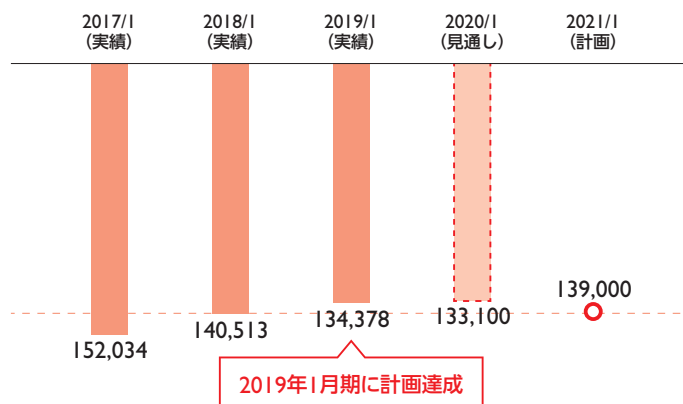
連結営業利益

(百万円)



連結有利子負債残高

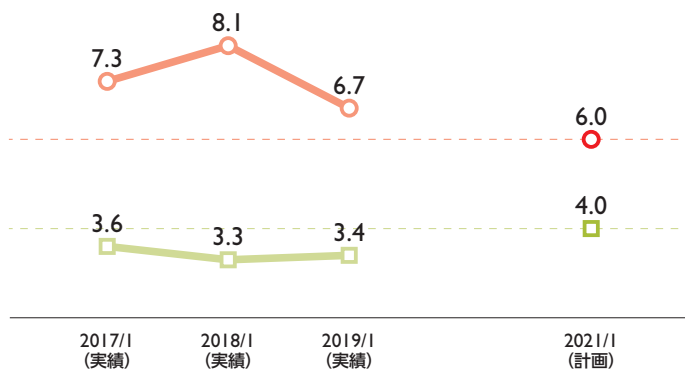
(百万円)



連結ROA／連結ROE

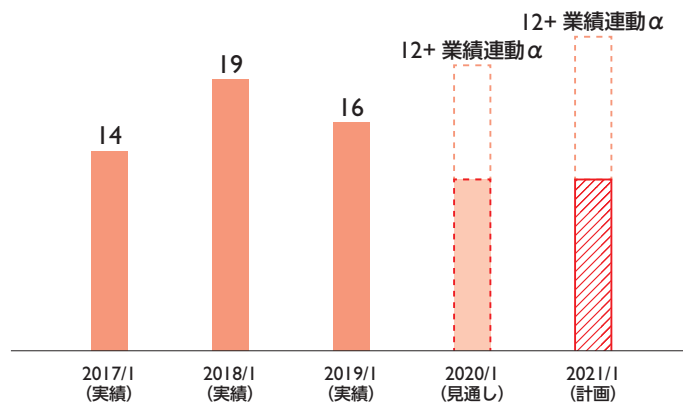
(%)

■ 連結ROA ○ 連結ROE



1株当たり配当額

(円)



2020年1月期の見通し (2019年3月14日発表)

売上高

89,000百万円
前期比 2.2%

営業利益

11,500百万円
前期比 0.2%

親会社株主に帰属する 当期純利益

6,000百万円
前期比 13.8%

「ATAMI BAY RESORT KORAKUEN」、「Hi!EVERYVALLEY」、「ファーストキャビン 東京ドームシティ」のオープンや、東京ドームシティ アトラクションズにおける新アトラクション2機種の導入などに伴い増収となる見通しです。

一方で、当期において特別利益に計上した投資有価証券売却益などの計上

が見込まれないことから減益となる見通しです。

この結果、売上高は89,000百万円(前期比2.2%増)、営業利益は11,500百万円(前期比0.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は6,000百万円(前期比13.8%減)となる見通しです。



代表取締役社長 執行役員

長岡 勤

100年企業に向けて、 人や街とともに変化しつづける

長岡 勤 代表取締役社長が、東京ドームグループの過去から現在を振り返るとともに、100年企業として目指す未来像をお話します。

創業時からの先駆性

時代に応じた施設開発で顧客層を広げる

当社は1936年にプロ野球の専用球場をつくる目的で株式会社後樂園スタジアムとして創業しました。創業の翌年に開場した後樂園スタジアムは1988年に全天候型多目的スタジアム「東京ドーム」となりましたが、都心・文京区を拠点に大型イベント用施設等を安全に運営し、お客様にエンタテインメントをご提供する事業の根幹は現在も変わりません。一方で、当社グループの歴史はレジャー産業として時代を牽引し変化し続けてきました。

創業当時、野球をご覧の後樂園スタジアムを訪れるお客様は主に男性でした。早期に周辺施設として拡充した後樂園競輪場等も男性客が中心でした。その後、1955年にはファミリー向けの後樂園ゆうえんち(現・東京ドームシティ アトラクションズ)を開場しましたが、女性の誘客を意図した施設開発には踏み込むことができませんでした。女性を意識した“癒しの空間”としてスパ施設Spa LaQuaを開業したのは2003年です。実は昼間から翌朝9時まで営業するSpa LaQuaについて、当初は「夜間の利用は男性客が中心」と予想していました。しかし実際には、夜間に働く多くの女性が帰宅前に訪れ、夜間利用客の男女割合はほぼ同じでした。都心部における人口動態や生活スタイルの変化に適應したことでSpa

LaQuaは好評をいただき、エンタテインメント型融合商業施設LaQuaとしての成功につながりました。

さまざまな客層が楽しめる“街”として発展した東京ドームシティ

2010年代も、多様な顧客層に向けて東京ドームシティにおける施設開発は続きました。2011年には都内最大級の屋内型キッズ施設ASOBono!を開場、さらに文化施設として2014年から宇宙ミュージアムTeNQ、2017年からは大人のための多目的ギャラリーであるGallery AaMoを展開しています。

これらの施設開発の根底には“東京ドームシティ=街”というコンセプトがあります。当社グループは野球というスポーツコンテンツを核に集客し、周辺施設を拡充してきましたが、当初は個々の施設ごとに特定のターゲットを決めて集客していました。そこから徐々に東京ドームシティをひとつの街として楽しんでもらいたいと考えるにつれて、“街”としての機能を充実させるべく、より広範囲なお客様層を意識した要素を加えていきました。

学生から大人までが楽しめる東京ドームシティ アトラクションズ、多目的にご利用可能な東京ドームホテル、20～30代女性を意識したLaQuaなどと次々に開発した後に考えたのが幼児向け施設でした。国内での少子化傾向に反して文京区など周辺エリアではお子様の数が増加傾向にあり、幼児期の遊びの体験を通じて将来

のリピーターを育てたいという想いからASOBono! が生まれました。さらに、東京ドームシティにスポーツ・アミューズメント以外にも文化的要素を充実させるべく展開したのが、当社グループならではのユニークな宇宙ミュージアムTeNQやGallery AaMoです。

こうした多様性に満ちた“街”の開発は、子育て経験がある女性スタッフを登用するなど、当社グループにおける多様な人材活用の推進にもつながっています。

現在における挑戦

東京ドームから半径2kmの魅力を伝える、開かれた街づくりへ

創業から現在、そして将来においても、当社グループの最大の強みは立地であるという基本は変わりません。都市計画公園の規

制などによる難しさもありますが、集客力に優れた立地を最大限に活かしながら、社会や人の変化を見極めつつ、東京ドームシティが提供するエンタテインメント要素、つまりはイベント力や施設力を充実・変化させていくことが当社グループの基本戦略です。

当社は現在、次世代の価値創造に向けて2017年1月期から5年間の中期経営計画「新機軸」を展開し、2019年1月期には4つの経営目標のひとつである有利子負債残高目標額を前倒しで達成するなど、順調に各施策を進めています。

「新機軸」ではアクションプランのひとつ目に「東京ドームシティに、将来にわたり持続的に価値をもたらすための環境整備に取り組みます。」を掲げました。すでに創業80周年記念事業として東京ドームとSpa LaQuaの大規模リニューアルを完了し、東京ドームシティ アトラクションズのジオポリス内には新アトラクション2機種——パニックコースター「バックダーン」、3Dシューティング「ガンガンバトラーズ」——をオープンしました。また、東京ドームシティを訪れる国内外お客様の増加を背景に、2019年3月には低料金かつコ

中期経営計画「新機軸」期間中における主な取り組み

アクションプラン	取り組み内容	期間
1	東京ドームの大規模リニューアル	2016年1月から3年間
7	東京ドームグループ教育センターを設置	2016年2月
3	Audio guide Q提供開始	2016年7月
3	Stroll Tips配信開始	2016年9月
1	CuBAR LOUNGE開場	2017年3月
8	マーケティング本部を新設	2017年4月
6	インシデント情報管理システムを導入	2017年4月
1	Gallery AaMo開場	2017年4月
4	Crème et Rouge開店	2017年4月
1	Spa LaQuaのリニューアル	2017年10月
5	公式サイトの多言語化を実施	2018年1月
3	東京ドームオンライン野球塾サービス開始	2018年4月
3	全国ご当地グルメメッセを香川県で開催	2018年4月
1	オフト後楽園の移転とラウンジセブン開場	2018年6月～7月
1	Hi!EVERYVALLEY開業	2019年3月
1	ファーストキャビン 東京ドームシティ開業	2019年3月
1	東京ドームシティ アトラクションズに2機種「バックダーン」「ガンガンバトラーズ」オープン	2019年3月
2	ATAMI BAY RESORT KORAKUENオープン	2019年3月

※ それぞれのアクションプランの内容については、p28をご覧ください。



おでかけ熱海とは

「おでかけ熱海」キャンペーンでは、今の熱海の魅力を知っていただくために、メインターゲットとなる20代後半～30代女性から人気を誇る中村アンさんをアンバサダーに起用し、熱海を代表する名所や商店街や食べ歩きグルメ、施設の紹介動画を「おでかけ熱海キャンペーンサイト」やSNSなどの媒体で発信しました。

コンパクト&ラグジュアリーをコンセプトとする「ファーストキャビン 東京ドームシティ」を開業しています。今後は新しいハードをいかに活用するか、単体の施設ではなく東京ドームシティという街の魅力を訴求するマーケティングが重要であると認識しています。

その一環として、当社グループは「東京ドームを中心とした半径およそ2km地域」の魅力を訴求するホームページStroll Tipsを開設しています。近年は東京ドームシティ内外の行き来に“壁をつくらない”工夫を重ねていますが、当社グループ施設にお客様を囲い込むのではなく、神保町、神楽坂、白山、湯島など近隣エリアに足を運んでいただきながら東京ドームシティもご利用いただく、近隣地域とWin-Winの関係で成長を続けていきたいと考えています。

熱海の魅力を満喫できる ATAMI BAY RESORT KORAKUEN

2019年3月、当社グループが1965年から運営する熱海後楽園ホテルを、ホテル、スパ、レストラン、フードマーケットの複合型リゾートATAMI BAY RESORT KORAKUENとしてリニューアルオープンしました。熱海事業では、熱海市と協働して「**おでかけ熱海**」キャンペーンを展開するなど、東京ドームシティにおけるエリア

マーケティングの考え方を活かしています。これまで温泉地のホテルは宿泊機能がメインであり、ホテル内の付帯施設に主に団体客やファミリー客を“囲い込む”ことで収益につなげてきました。今回のATAMI BAY RESORT KORAKUENでは、多様な宿泊スタイルに対応するホテル新館「AQUA SQUARE」、熱海最大級の日帰り温泉施設「オーシャンスパ Fuua」、伊豆の食材を楽しむレス



トランやマーケットを集めた「IZU-ICHI」を新設し、熱海というエリアを訪れる、日帰り客も含めたすべての観光客を広くターゲットと位置付けています。熱海事業における総事業費は約110億円で、初年度は宿泊施設に年間13万人、温泉施設に年間25万人の来場者数を見込んでいます。

これまでの熱海後樂園ホテルは宿泊客へのサービス対応に特化してきただけに、ATAMI BAY RESORT KORAKUENが日帰り客も対象に熱海市内の観光案内などさまざまな付加価値サービスを深めることは課題であり、新たなチャレンジでもあります。しかし熱海市内の他施設とも連携しながら、熱海市への訪問客を増やし、地域の活性化に貢献することが、着実に当社グループ事業の成長と発展につながるものと考えています。

東京ドームシティで培ったノウハウを外部に展開

当社グループは熱海事業以外でも東京ドームシティで培ったノウハウをさまざまな形で外部展開しています。

東京ドームシティでは、年間を通じてスポーツやコンサートなどのビッグイベントや、多彩なコンベンションイベントを開催しています。2019年の動員実績では、ふるさと祭り東京2019:424,000人、東京国際キルトフェスティバル:210,000人、テーブルウェア・フェスティバル:275,000人、世界らん展2019:136,000人と、日本有数の集客実績を残しています。当社グループが企画運営したコンテンツ(または、その一部)を国内外で外部展開する事例も増えており、近年において国内ではデパートと提携したISETAN テーブルウェア・フェスティバルや全国ご当地グルメフェス、海外でも全国ご当地どんぶり選手権 in 香港などが開催されています。日本有数の集客力を誇る東京ドームシティでのイベント開催によって知名度を高めたコンテンツは外部展開の際も集客しやすいと評価が高く、地方デパート様からの引き合いも多くいただいています。

また、当社グループにおいてはスポーツセンターなど公共施設の運営を請け負う指定管理事業(PPP事業)においても長年の実績を誇ります。質の高い行政サービスを提供したい地方自治体様から、東京ドームシティで培った安全・安心な施設運営管理やイベント企画力などのノウハウを高くご評価いただいております。当社グループは2019年1月期には24行政・34案件・211施設の委託



をいただき運営を行っています。

当社グループにおいては今後も日本有数の立地力を誇る東京ドームシティを本拠地としてハードとソフト両面での実績を重ね、そこで培ったノウハウを国内外提携先や地方自治体など外部機関との連携に活かし、収益力強化につなげてまいります。

未来を見据えて

グループ全体での人材育成と適正な人材配分に向けて

現在そして将来に向けて東京ドームグループの発展と成長の礎は継続的な人材育成にほかなりません。特にこれからの当社グループが必要とするのは“地力がある人材”です。一例として東京ドームシティの現場ではインバウンドのお客様など日常的に海外のお客様と接する時代となり、すでに構内MAPや公式サイト等における多言語化、多言語オーディオアプリAudio guide Qを販売・活用するなどハード面でグローバル化・ユニバーサル化に対応しています。しかし、最後はすべての現場の最前線にいる社員の対応、ソフト面にかかっています。組織のひとつの駒として動くのではなく、自分自身で考え、周囲を巻き込みリードしていける人材を育てていきたいと考えています。

当社は単体でも業種が多く、各社員が事業の全体像を把握すべく、定期的なジョブローテーションを行っています。さらに今後はグループ全体での人事交流を活性化する予定です。国内での少子化や労働力不足を背景に、東京ドームグループにおいてもホテル事業や施設管理など一部の分野で人手不足が課題となっています。グループ全体で機械化やロボット化で省力化や効率化を図る部門と人手を増やす部門を見極め、人材を再配分していく必要があります。

最大の強み、そして社会的役割でもある安全・安心

創業当初から当社グループにおける最大のテーマは、お客様の安全・安心の確保です。2011年の東日本大震災を経て、今後は2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、実践的な防災・防犯の教育・訓練活動、テロ対策を含む仕組みづくりの拡充に一層努めています。

東京ドームシティ内施設の安全状況を利用者目線でチェックする安全パトロール、さまざまなリスクに対応したマニュアルの整備、東京ドームシティを活用した大規模な訓練等に加えて、「東京ドームグループ教育センター」を開設してグループ内従業員を対象に

ホスピタリティの強化とともに専門的な安全管理研修や講習会を行っています。さらに各部署内では防災・消防訓練のほか、災害時帰宅困難者対応やJアラート発令時の対応など、さまざまな状況・リスクを想定した訓練を年間約2,000回実施しています。

さらに当社の安全推進室が中心となり、グループ内で発生した不具合やヒヤリハット事例、他社施設の事故・災害に関する情報をインシデント情報システムとしてデータベース化し、情報共有を行っています。今後は情報の分析を継続し、予防的施策を含めて、安全・安心のための施策を体系的にまとめる予定です。

東京ドームグループにおいて特徴ある安全マネジメントシステムは安定的な事業運営を行う基盤であると同時に大きな強みです。一方、社会全体で高度な防災・防犯対策が不可欠となりつつある中、当社グループは社会的役割として、教育・研修等は無償・有償にて提供することも検討しています。さらに将来的に安全・安心をテーマとした事業化の可能性に鑑みながら、インシデント情報システムを確立してまいります。

100年企業を見据え、着実に歩み続ける

ESG経営の観点からは、東京ドームシティでは、東京ドームをはじめとしてエネルギー消費量の大きな施設を保有するため、環境・温暖化対策として地域冷暖房システムなどの各種環境対策システムをいち早く導入しています。また、高効率の空調設備やLED照明への更新、エネルギーの可視化を目的とした管理システムの導入等により、東京都が規定する温室効果ガスにおける法定削減義務値を毎年大幅に上回ってクリアしています。

またリスク管理については、リスク管理委員会の内規を変更してグループ管理体制に移行したほか、引き続き現場および取締役会を含む組織における多様性のある人材の登用に前向きに取り組むとともに、コーポレート・ガバナンスの強化に努めてまいります。

当社グループは規模の大きな施設を運営していることから、短期的ではなく中期的な計画の策定と実行が不可欠です。持続的に企業価値を創出する100年企業を目指し、中期経営計画「新機軸」の8つのアクションプランを着実に推進してまいります。ぜひステークホルダーの皆様には、中長期の視点で東京ドームグループの持続的な成長にご期待ください。



統括安全管理者による安全巡視

東京ドームグループの社会的責任

東京ドームグループでは、経営理念と安全理念を掲げ、企業の社会的責任の追求を念頭に、倫理指針であるコンプライアンスの徹底をはじめとして、CSRの各分野に積極的に取り組んでいます。これらの取り組みについて、CSRの国際的なガイドラインであるISO26000に沿ってご紹介します。





組織統治

お客様の安全・安心の確保とともにコーポレート・ガバナンスを充実させ、グループ全体の経営の透明性・健全性・効率性を高めていくことを重要な経営課題ととらえています。特に、各ステークホルダーの皆様と良好な関係を構築していくため、適時・適切に情報を開示していくことが重要と考えています。

主な取り組み

- ➡ 安全に対する取り組み
- ➡ コーポレート・ガバナンス
- ➡ 内部統制・コンプライアンス
- ➡ リスク管理

✓ PICK UP 安全に対する取り組み

すべての事業においてお客様に安心して楽しんでいただける場を持続的に提供するために、さまざまな安全対策を講じています。「安全こそが当社グループの存立基盤である」ことを強く認識し続けるため、2011年4月21日に「安全理念・安全基本方針」を制定・施行しました。この理念・方針のもと、常に日々新たな気持ちで「安全文化」を築き上げるための努力を継続します。今後も、施設・設備への更新投資の継続や、安全管理体制の推進と拡充、オリンピック開催を見据えたテロ対策強化や、防災・防犯の教育、訓練活動の拡充を進め、「いつも安全・安心な環境を保ち続ける取り組み」を強化していきます。

安全理念

東京ドームグループは、お客様と「感動」を共有するために、安全を第一に考え、行動します

安全基本方針

- ➡ 安全で楽しい施設とサービスの提供を追求し続けます
- ➡ 安全について私たち自身で基準を設定し遵守します
- ➡ 安全のための教育訓練に積極的に取り組みます

全社的な取り組み

お客様および従業員に対する総合的な安全管理体制構築の推進を所轄する部署として、安全推進室を設置しました。また、当社代表取締役社長が統括安全管理者に就任し、経営において安全面を重視して判断する責任を負うこととしました。安全推進室は、年次総合安全計画の策定、総合安全活動に関する企画立案・推進、安全監査、リスクアセスメント、年次総合安全報告書の策定などを担当し、安全確保の施策全般をスパイラルアップさせていくためのPDCAサイクルの仕組みをつくり、機能・維持しております。また2017年4月より「インシデント情報管理システム」を導入、当社グループ内で発生した不具合やヒヤリハット事例などのほか、社外施設の事故・災害に関する情報をデータベース化しています。関連情報を全役職員で共有することにより、継続的な安全啓発を図り、当社グループの安全に関する活動のさらなる推進につなげています。

「安全の日」と 「安全週間」



「安全週間」統括安全管理者による安全巡視

安全に対する強い意識を新たにすると
して、1月30日を「安全の日」と制
定しています。また、1月30日から2月
5日までの1週間を「安全週間」とし、各
事業所や各施設における安全の総合点
検、統括安全管理者による安全巡視を
行っています。

安全啓発室



安全啓発室

2017年1月30日、「東京ドームグルー
プ安全啓発室」を設置しました。2011
年1月30日のお客様死亡事故時の舞姫
搬器の一部や、事故概要などのパネル
を恒常的に展示し、安全文化の醸成と
安全意識の向上のために、全従業員の
安全教育の場として活用しています。

テロ対策で 警視庁より表彰



警視総監から警視総監感謝状を授与

2016年4月28日、「第16回テロ対
策東京パートナーシップ推進会議」に
て、警視総監賞を受賞しました。テロ対
策パートナーシップ推進会議発足時か
ら、合同訓練や研修会等に積極的に参
画している企業として、都内のテロ対策
における多大な貢献が評価されました。

防火対策で 東京消防庁より表彰



小石川消防署長から消防総監表彰状を授与

2016年11月7日、東京消防庁より、
「長期にわたり優良防火対象物として認
定を継続されている事業所」として表彰
されました。同庁が、2006年から火災
予防条例に基づき優良防火対象物認
定表示制度を推進し、10年の節目を迎
えたことによります。

東京ドームホテルが 東京消防庁より表彰



小石川消防署予防課長から消防総監表彰状を授与

2018年3月7日、東京消防庁より、
「東京消防庁 消防総監賞」を受賞しま
した。東京ドームホテルの「自衛消防隊
の取り組みが業務内容適切功労でほか
の模範である」という点が評価されま
した。

防災訓練



災害対策本部

大規模災害により同時多発的に火災
や負債者等の被害が発生したという想
定で各自衛消防隊の部分訓練の強化
と連携訓練を実施します。災害対策本
部や災害対策班は、実際に近いシナリ
オなき訓練を行うことで状況に応じた
対応力を養います。

 **PICK UP**

当社は、コーポレート・ガバナンスの充実により、グループ全体の経営の透明性、健全性、効率性を高めることが、持続的な企業価値の向上に不可欠であり、重要な経営課題ととらえています。特に、株主をはじめ、顧客、取引先、地域社会、従業員等のステークホルダーと良好な関係を構築するために適時・適切に情報を開示し、企業活動の透明性を確保することが重要だと考えています。当社は、監査役制度を採用し、取締役会による業務執行の監督と監査役会による監査を中心とした経営監視の体制を構築しています。また、取締役と監査役の報酬は、株主総会の決議により、取締役全員および監査役全員のそれぞれの報酬総額の最高限度額を決定しており、この点で株主の監視が働く仕組みです。なお、取締役の経営責任を明確化し、経営環境の変化に対応できる経営体制を機動的に構築するために、取締役の任期を1年にして

コーポレート・ガバナンス体制の概要

取締役会 取締役10名(うち、社外取締役3名)で構成され、当社の経営方針および業務執行を決定し、取締役および執行役員の職務の執行を監督する権限を有しています。

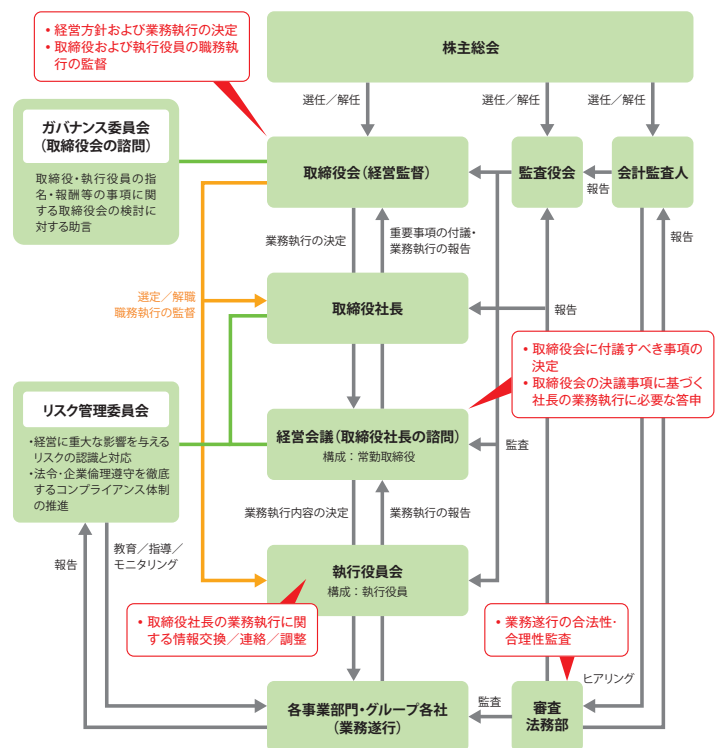
監査役会 監査役4名(うち、社外監査役2名)で構成され、監査に関する重要な事項について報告を受け、協議を行い、または決議をしています。各監査役は、監査役会が定めた監査の方針、業務の分担などに従い、取締役会およびその他の重要な会議に出席するほか、取締役等に営業の報告を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、主要な事業所には自ら赴き業務および財産の状況を調査しています。

経営会議 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制の基礎として、常勤取締役全員によって構成される経営会議を設置し、取締役会に付議すべき事項の決定ならびに取締役会の決議事項に基づく取締役社長の業務執行に必要な答申を行っています。

執行役員会 戦略的・機動的な意思決定と業務執行を目指して執行役員制度を導入しています。執行役員は、取締役会で選任され、取締役会の決定に基づき社長が委嘱する担当職務の執行責任者としての責任と権限を有し、業務を執行しています。また、執行役員全員によって構成される執行役員会を設置し、取締役会および経営会議の決議事項を伝達し、社長の業務執行に関する情報交換・連絡・調整の円滑化を図っています。なお、現場・現実に根ざした意思決定と監督を行うため、監督と執行の完全な分離は志向せず、常勤取締役が執行役員として業務執行を担当するとともに取締役会に参画する体制をとっています。

ガバナンス委員会 取締役会の諮問機関として独立社外取締役を多数構成とするガバナンス委員会を設置し、取締役および執行役員の指名ならびに報酬等特に重要な事項に関して取締役会が検討するに当たり、本委員会が適切な答申を行うことで取締役会の機能の独立性・客観性と説明責任を強化しています。

東京ドームグループのコーポレート・ガバナンス体制



取締役・監査役候補の指名および経営幹部の選解任の方針と手続き

取締役会の構成に関する考え方

- ・ 取締役会は、取締役12名以内とし、そのうち2名以上を社外から選任することで、外部からの視点での監督機能を強化し透明性の高い経営を実現する。
- ・ 精通する事業分野や経験等についてのバランスおよび多様性を確保する。

取締役・監査役の指名および選解任について

(1) 取締役選定基準

- ① 人格に優れ、当社グループの経営に有益な高い見識・豊富な経験を有する。
- ② 時代の動向や市場の変化を的確に捉え、専門とする事業・分野からの客観的な意見を、全社的な見地に立ち発言できる。
- ③ 当社の経営理念および当社グループの安全理念に基づき、当社の持続的成長と企業価値向上への貢献が期待できる。
- ④ 社外取締役については、企業経営・法律・財務会計・行政・リスク管理等の分野に関する知見および豊富な経験を有し、うち2名以上は当社の定める「独立性判断基準」に抵触しない。
- ⑤ 会社法第331条第1項に定める取締役の欠格事由に該当しない。

(2) 監査役選定基準

- ① 人格に優れ、監査役の職務を遂行するうえで必要な高い見識・豊富な経験を有する。
- ② 中立な立場から客観的に取締役の職務執行を監査し、経営の健全性および透明性の向上に貢献できる。
- ③ 常勤監査役のうち1名は、財務・会計に関して十分な知見を有する。
- ④ 社外監査役は、監査役会の半数以上とし、企業経営・法律・財務会計・行政・リスク管理等の分野に関する知見および豊富な経験を有し、会社法第2条第16号に定める社外監査役の要件を満たす。
- ⑤ 会社法第335条で準用する同法第331条第1項に定める監査役の欠格事由に該当しない。

(3) 取締役・監査役の指名手続き

- ① 選定基準および取締役会の構成に関する考え方を踏まえ、代表取締役が指名案を作成する。
- ② 社外取締役が過半数のガバナンス委員会にて指名案を審議し、

助言もしくは提言する。

- ③ ガバナンス委員会の助言・提言を十分に斟酌したうえで取締役会に指名案を上程し承認する。なお、監査役については監査役会にて審議し、同意を得たうえで取締役会の承認を得るものとする。
- ④ 株主総会に付議する。

(4) 取締役・監査役の解任

- ① 取締役・監査役に関し、以下の状況が認められた場合、取締役会は当該役員の解任に向けた手続きを開始する。
 1. 法令・定款に違反する重大な事実が判明した
 2. 選定基準から著しく逸脱した事実が認められた
 3. 職務を懈怠することにより、著しく企業価値を毀損した
 4. その他職務の適切な遂行が困難と認められる事由が生じた
- ② 取締役・監査役の解任については、ガバナンス委員会による公正かつ厳格な審議を経たうえで、取締役会における決議を経て、株主総会で決定される。なお、監査役については監査役会にて審議し、同意を得たうえで取締役会に諮るものとする。

経営幹部の選解任について

(1) 執行役員選任基準

- ① 社長執行役員が委嘱する担当職務の執行責任者として、責任と権限を有するに相応しい人格・能力・実績・見識を備える。
- ② 当社中期経営計画達成に向けた基本方針および経営課題に対し、深い理解と公正で誠実な職務執行を期待できる。

(2) 執行役員選解任手続き

- ① 経営会議にて選解任案を作成する。
- ② ガバナンス委員会にて選解任案を審議し、助言もしくは提言する。
- ③ ガバナンス委員会の助言・提言を十分に斟酌したうえで、取締役会の決定により選解任する。

当社の定める「独立性判断基準」

当社グループは、社外役員について、下記の項目によりその独立性を判断します。また、東京証券取引所が定める「独立役員」として指定する場合は、いずれの項目にも該当しないことを要件といたします。

- a 当社グループを主要な取引先とする者またはその業務執行者(会社法施行規則第2条第3項第6号に規定する者をいう)**
 - ・「当社グループを主要な取引先とする者」とは、直近の3事業年度における当社グループとの取引額が当該会社の当該事業年度における(連結)売上高の2%以上を占める者をいう。
- b 当社グループの主要な取引先またはその業務執行者**
 - ・「当社グループの主要な取引先」とは、直近の3事業年度における当社との取引額が当社グループの当該事業年度における連結売上高の2%以上を占める者をいう。
- c 当社グループの主要な借入先またはその業務執行者**
 - ・「主要な借入先」とは、当社グループの借入先のうち、直近の事業年度末における借入残高(社債等有利子負債を含む)が上位3位以内の会社(親会社がある場合には、当該親会社も含む)をいう。
- d 当社グループの主要な株主またはその業務執行者**
 - ・「主要な株主」とは、直近の事業年度末での議決権を、当社グループ各々の

- 会社において、直接または間接に関わらず10%以上を保有する者をいう。
- e 当社グループから役員報酬以外に多額の金銭その他の財産を得ているコンサルタント、会計専門家、法律専門家または税務専門家(個人である場合には、その者が代表またはそれに準ずる職を務める団体を含む)**
 - ・「多額の金銭」とは、直近の3事業年度を対象として、個人である場合には年間1,000万円以上、団体である場合には当該団体の当該事業年度の(連結)売上高の2%以上の金額をいう。
- f 当社グループを担当している会計監査人である監査法人の社員もしくはパートナー、またはその他の会計専門家**
- g 当社グループが多額の寄付を行っている先の業務執行者**
 - ・「多額の寄付」とは、直近の3事業年度を対象として年間1,000万円以上の金額の寄付をいう。
- h 社外役員の相互就任の関係にある先の業務執行者**
- i 当社グループの取締役、監査役、執行役員または使用人(過去にそうであった者を含む)**
- j 上記aからhに掲げる項目は、現時点で該当しなくとも過去3年間に遡って確認するものとする。**
- k 上記aからiに掲げる項目は、その三親等以内の近親者についても確認するものとする。**

役員報酬決定の方針と手続き

基本方針

- ・各役員の役割や責任に応じた報酬体系とし、透明性と公正性を確保します。
- ・業務を執行する役員の報酬は、業績向上への意欲を高め、中長期的な企業価値向上に資する報酬体系とし、ステークホルダーと利益を共有するものとしします。
- ・報酬体系・水準については、社外役員を過半数とするガバナンス委員会に諮問することで、客観性・合理性を確保します。
- ・報酬体系・水準は、経済情勢や当社業績、他社水準等を踏まえて見直しを行います。

報酬体系

- ・常勤取締役および執行役員の報酬は、役位別の固定報酬と、短期の業績に連動した役員賞与および中長期インセンティブとしての株式報酬から構成されます。
- ・社外取締役の報酬は、業務執行から独立した立場で経営の監督・助言を行うという観点から、固定報酬とします。
- ・監査役の報酬は、独立性に配慮し、職責および常勤・非常勤に応じた固定報酬とします。
- ・固定報酬は、職責に応じて役位毎に決定します。業績連動型役員賞

与は、配当金総額の5%を原資として、連結業績評価指標で上下する支給率を乗じて算出された支給可能総額を上限に、支給額を決定します。株式報酬は株式交付信託を用いて役位に基づき算定された当社株式を退任時に支給します。

報酬決定の手続き

- ・取締役の報酬は、株主総会で承認された総額の範囲内で、社外役員を過半数とするガバナンス委員会への諮問・答申を経て取締役会にて決定します。
- ・監査役の報酬は、株主総会で承認された総額の範囲内で、監査役の協議に基づき決定します。

報酬等の総額(2019年1月期)

区分	支給人員	支給額
取締役 (うち社外取締役)	10名 (3名)	281百万円 (18百万円)
監査役 (うち社外監査役)	4名 (2名)	62百万円 (12百万円)

※1 2008年4月25日開催の第98回定時株主総会において、取締役の報酬額を、使用人兼務取締役の使用人分の給与とは含まないものとして年額400百万円以内(うち社外取締役分は年額30百万円以内)、監査役の報酬額を年額80百万円以内として承認をいただいています。

※2 期末人員は、取締役10名、監査役4名です。

取締役および監査役



- ① 長岡 勤
代表取締役社長 執行役員
- ② 野村 龍介
代表取締役副社長 執行役員
経営本部長
- ③ 谷口 好幸
専務取締役 執行役員
経営本部副本部長
兼安全推進室・審査法務部・
広報IR室担当
- ④ 西勝 昭
専務取締役 執行役員
マーケティング本部長
兼宣伝広告部・営業推進部担当

- ⑤ 萩原 実
専務取締役 執行役員
営業本部長
- ⑥ 小田切 吉隆
常務取締役 執行役員
管理本部長
兼総務部・財務部・施設部担当
- ⑦ 久岡 公一郎
常務取締役 執行役員
経営本部 グループ戦略室・公共施設事業室・
新規事業開発室・IT戦略部担当
- ⑧ 秋山 智史
社外取締役 (独立役員)

- ⑨ 森 信博
社外取締役 (独立役員)
- ⑩ 井上 義久
社外取締役 (独立役員)
- ⑪ 田中 雅昭
常勤監査役
- ⑫ 田中 毅
常勤監査役
- ⑬ 高橋 功
社外監査役 (独立役員)
- ⑭ 青木 英憲
社外監査役 (独立役員)

執行役員

永田 有平
常務執行役員
営業本部興行企画部・ホール・
ミーツポート部・ミュージアム部担当
兼興行企画部長

手島 康彦
常務執行役員
営業本部営業環境管理部・東京ドーム部担当
兼東京ドーム部長

岩瀬 敬之
常務執行役員
マーケティング本部営業企画部・開発室担当
兼開発室長

棟方 史幸
執行役員
営業本部ラクーア部・アミューズメント部・
スポーツレジャー部担当
兼ラクーア部長

岡 佳和
執行役員
営業本部業務部・プロパティ管理部担当
兼業務部長

中川 真
執行役員
営業本部飲食&物販部・流通事業部担当
兼飲食&物販部長

岡田 洋美
執行役員
経営本部秘書室・人事部・教育センター部担当
兼秘書室長



人権

「コンプライアンス行動規範」において、法令遵守はもとより、
人権を尊重し、差別やハラスメントを行わない旨を定め遵守しています。

主な取り組み

- ▶ バリアフリーへの取り組み
- ▶ ハラスメント防止教育
- ▶ ダイバーシティ
- ▶ 一般事業主行動計画

PICK UP ダイバーシティ

定年退職後の雇用を支援する「セカンドキャリア制度」や、ハンディキャップを考慮して個人のスキルを発揮しながらいきいきと働くことができる障がい者雇用の推進など、性別・年齢・障がいの有無に関係なく、誰もが活躍できる制度の整備に取り組んでいます。

株式会社東京ドームの人事・雇用に関するデータ

	2017年1月期	2018年1月期	2019年1月期
正社員数	476名	504名	524名
男女別正社員数	男性301名 女性175名	男性313名 女性191名	男性323名 女性201名
平均年齢	全体44.7歳(男性43.6歳 女性46.4歳)	全体44.4歳(男性43.5歳 女性45.9歳)	全体44.2歳(男性43.2歳 女性45.7歳)
平均勤続年数	22.9年	22.0年	21.4年



労働慣行

従業員一人ひとりの能力が最大限に発揮できるよう、人材育成のためのさまざまな取り組みを推進し、
安心して働ける職場環境の整備に努めています。

主な取り組み

- ▶ 人事・人材育成制度について
- ▶ 一般事業主行動計画

PICK UP 一般事業主行動計画

一般事業主行動計画とは、企業が子育てをしている労働者の職業生活と家庭生活との両立を支援するための雇用環境の整備や、子育てをしていない労働者も含めた多様な労働条件の整備などを行うために策定する計画です。

当社は、社員が仕事と子育てを両立させることができ、さまざまな立場の社員が働きやすい環境をつくることにより、すべての社員がその能力を十分に発揮できるようにするため、具体的な行動計画を策定しています。また、多くの女性がやりがいをもって働き、キャリアアップを目指すことができる環境づくりを目指します。



環境

事業活動で発生する環境負荷の低減に向けて、さまざまな環境保全活動に取り組んでいます。環境に配慮したシステムの導入や専門組織の設置など、地球温暖化防止をはじめとする持続的な環境保全を積極的に推進しています。

主な取り組み

- ① 温暖化対策小委員会／環境対策小委員会の設置
- ② 東京ドームシティの各営業施設における環境保全対策

PICK UP 温暖化対策小委員会／環境対策小委員会の設置

リスク管理を体系的に定める「リスク管理規定」に基づき、経営に重大な影響を与えるリスクをトータルに認識して対応するため、当社代表取締役社長を委員長とする「リスク管理委員会」を設置しています。

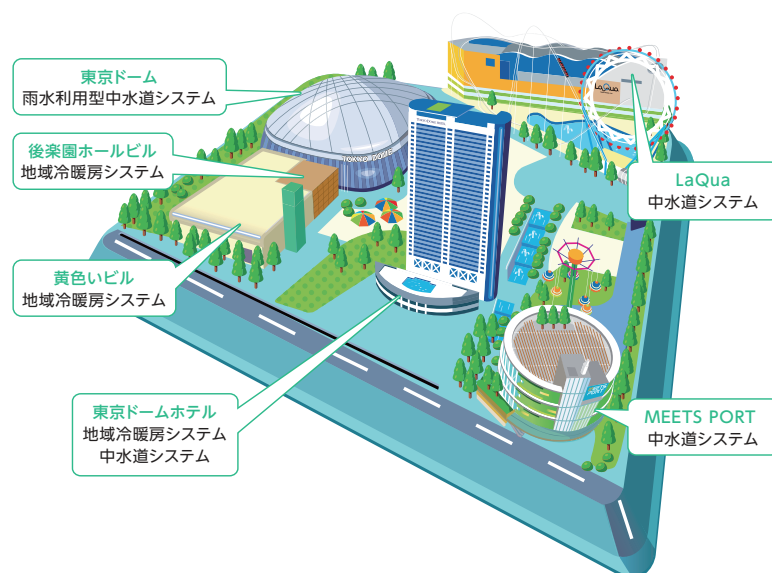
「リスク管理委員会」のもとに、地球温暖化対策を推進する「温暖化対策小委員会」、ゴミ処理対策などを統制する「環境対策小委員会」を設置し、それぞれの担当分野におけるリスクマネジメントを実施しています。

温暖化対策小委員会・環境対策小委員会の位置づけ



東京ドームアリーナ内の全照明LED化をはじめ、省エネ関連設備を積極的に導入

東京ドームシティでは、各施設にて省エネルギーの推進と環境負荷の低減をいち早く実現しています。2016年からの東京ドーム大規模リニューアルにおいては、アリーナ内の全照明をLEDに更新しました。また、その他の省エネ対策として、「東京ドームの雨水再利用システム」「地域冷暖房システム」「微細な電力制御による省エネ効率の高いインバータ設備」「『エネルギーの見える化』システム」をはじめとした設備を積極的に導入しています。さらに、100名を超える省エネ担当者を選任し、各エリアで照明や空調設備の運転時間、設定温度の管理を強化するなど、地球温暖化防止対策推進の組織体制も強化しています。今後も継続して省エネ活動に取り組めます。





公正な事業慣行

組織として社会的責任を果たすための公正な事業慣行の維持を重要課題として、各ステークホルダーの皆様の信頼に応えていきます。

主な取り組み

- 内部統制・コンプライアンス
- 適正な業務遂行に向けた取り組み
- リスク管理
- 内部通報制度

PICK UP 内部通報制度

当社はいわゆる内部通報制度として、「スピークアップ制度」を導入しています。役員や従業員の違法行為や「コンプライアンス行動規範」に違反しているかもしれないと感じた場合には、相談窓口である法律事務所を通して、監査役およびコンプライアンス小委員会が連携して対処できる体制を確立し、これによりコンプライアンス違反による信用失墜など企業価値を損ねる事態の発生を未然に防止しています。これらが記された「従業員携帯用行動規範カード」は、従業員一人ひとりが常に携行しています。



消費者課題

すべての事業においてお客様に安心して楽しんでいただける場を持続的に提供していけるよう、さまざまな対策を講じています。

主な取り組み

- 顧客満足に対する取り組み
- 安全に対する取り組み
- 東京ドームシティ 接客ロールプレイングコンテストの実施

PICK UP 東京ドームシティ 接客ロールプレイングコンテストの実施

「東京ドームシティ 接客ロールプレイングコンテスト」は、“お客様と感動を共有するためには、まずはスタッフが楽しく働き、スタッフ自身が東京ドームシティを好きになり、よりよいサービスを提供すること”を趣旨として開催されているイベントです。“もう一度この人に接客してほしい”と思われるような、お客様へ満足・感動を与えられる接客を目指して、東京ドームシティで働くスタッフの中から選ばれた「BEST OF SMILE」メンバーが、日頃の接客サービスを披露し、毎年7月の決勝大会に臨みます。

このような取り組みを通して、さらなるお客様へのサービス向上を目指していきます。





コミュニティへの参画およびコミュニティの発展

イベントの企画、防災、定期的な地域の美化活動、文化事業の支援、自社施設へのご招待など、地域住民の皆様に密着した幅広い取り組みを実施しています。

主な取り組み

- ▶ 地域の美化活動 ▶ 文化事業への貢献 ▶ 自社施設へのご招待
- ▶ 企業訪問の受け入れ ▶ 地域社会とのかかわり

PICK UP 地域社会とのかかわり

持続的に企業価値を向上させていくためには、地域の皆様とともに歩みを進めていくことが不可欠です。そこで、イベントの企画、防災、定期的な地域の美化活動、文化事業の支援、自社施設へのご招待など、地域住民の皆様に密着した幅広い取り組みを実施しています。

創業より80年以上営業している文京区はもとより、熱海や松戸等、当社グループが事業を営む地域の皆様との関係を大切にしながら事業を営んでいきます。

来場者と地域住民の安全確保

東京ドームシティは「東京都震災対策条例」に基づき、東京都から、大地震に伴う大規模な市街地火災等に際し、住民が避難するための「緊急避難場所」に指定されています。災害時には一時的に避難してきた人や行き場のない帰宅困難者の安全の維持が全従業員の最優先課題となっています。

災害時には、自衛消防活動を行う自衛消防隊機能に加え、「初動支援班」「設備安全班」などの専門チームが組織され、年間合計約2,000回の防災・安全訓練を行っています。東京ドームシティ全体での総合防災訓練も目的別に複数回実施しており、災害時の消火・応急救護などの技術向上を主目的とした訓練においては、従業員のほかに所轄消防署や警察署、地域住民も参加して防災への意識を高めています。

▶ 文京区(東京都)と、災害時の相互協力に関する協定を締結

2013年3月19日、文京区と当社は、災害時における相互協力に関する協定を締結しました。この協定は、災害時の帰宅困難者対策として、当社が一時滞在施設の提供などを行うものです。災害時には、文京区の方の要請により東京ドームシティの一部施設において、当日のイベントなどを考慮のうえ、帰宅困難者を可能な限り受け入れます。

成澤廣修文京区長(左)と久代信次社長(当時)



地域の美化活動(クリーンレンジャー)

東京ドームシティで働くスタッフが毎月1回、およそ30分間をかけて東京ドームシティ周辺を清掃しています。清掃に参加するスタッフは「クリーンレンジャー」と呼ばれ、黄色のベストを着用しています。また夏場には、併せて打ち水を実施するなど、地域環境の向上を目指す取り組みも行っています。

▶ クリーンレンジャーのコメント

街のいたる所にさまざまなゴミが落ちていることに改めて気づかされました。また、この活動を通じ、一緒に参加しているグループ会社の社員とのコミュニケーションが取れるようになったことも大きな収穫となっています。



▶ 連結

株式会社東京ドームおよび連結子会社
1月31日で終了した1年間

	2015/1	2016/1	2017/1	2018/1	2019/1
経営成績 (百万円)					
売上高	83,215	85,875	87,761	83,686	87,048
売上原価	66,396	67,858	69,441	66,478	69,754
一般管理費	5,548	5,280	5,730	5,819	5,812
営業利益	11,270	12,737	12,589	11,389	11,481
経常利益	9,136	10,636	10,771	10,057	10,402
親会社株主に帰属する当期純利益	7,441	4,559	6,635	8,116	6,962
総資産	304,484	302,715	303,503	306,676	299,574
純資産	80,688	86,312	94,602	105,439	102,070
土地再評価差額金	50,956	53,871	55,286	55,286	55,286
設備投資額	6,686	5,853	7,652	9,587	17,176
減価償却費	7,326	7,517	6,746	6,751	6,902
有利子負債残高	166,085	158,644	152,034	140,513	134,378
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,131	19,405	19,185	17,676	16,845
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,102	△ 6,367	△ 6,725	△ 6,657	△ 11,311
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,563	△ 10,310	△ 9,110	△ 14,062	△ 12,563
現金及び現金同等物の期末残高	14,561	17,289	20,639	17,595	10,566
1株当たり情報^{※1} (円)					
1株当たり当期純利益 ^{※2}	78.07	47.84	69.63	85.17	73.88
1株当たり配当額	12	12	14	19	16
1株当たり純資産	846.55	905.63	992.68	1,106.41	1,105.89
財務指標 (%)					
売上高営業利益率	13.5	14.8	14.3	13.6	13.2
売上高当期純利益率	8.9	5.3	7.6	9.7	8.0
自己資本利益率(ROE)	9.6	5.5	7.3	8.1	6.7
総資産経常利益率(ROA)	3.0	3.5	3.6	3.3	3.4
自己資本比率	26.5	28.5	31.2	34.4	34.1
D/Eレシオ(倍)	2.1	1.8	1.6	1.3	1.3

▶ 個別

株式会社東京ドーム
1月31日で終了した1年間

	2015/1	2016/1	2017/1	2018/1	2019/1
経営成績 (百万円)					
売上高	59,061	59,679	61,857	61,369	64,490
売上原価	44,822	44,874	46,541	46,169	49,371
一般管理費	4,054	3,737	4,080	4,236	4,116
営業利益	10,184	11,067	11,235	10,962	11,002
経常利益	8,121	9,186	9,490	9,757	9,952
当期純利益	6,933	4,105	6,212	7,735	6,420
総資産	307,677	306,675	308,083	311,338	304,860
純資産	79,314	84,225	91,542	101,096	98,125

※1 2016年8月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施していますが、2015年1月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり情報を算定しています。

※2 1株当たり当期純利益は各年度の発行済普通株式数の加重平均値をベースに算出しています。



東京ドームシティ事業※1

施設名・事業名	売上高※2(百万円)			来場者数(千人)		
	2017年1月期	2018年1月期	2019年1月期	2017年1月期	2018年1月期	2019年1月期
東京ドーム (自主興行売上を含む)	14,069	14,555	14,838	8,681	8,883	9,321
飲食店および物販店 (コンサートなどのグッズ販売を含む)	18,075	16,998	19,169	—	—	—
LaQua	5,921	5,652	5,913	15,100	14,920	15,290
Spa LaQua	3,271	3,026※4	3,291	719	659※4	723
東京ドームシティ アトラクションズ※3	3,209	3,132	3,305	5,724	5,667	5,961
シアターGロッソ	—	—	—	310	305	298
ASOBono!	363	372	383	360	366	370
黄色いビル	4,430	4,291	3,771	—	—	—
Hi!EVERYVALLEY	—	—	—	—	—	—
ファーストキャビン 東京ドームシティ	—	—	—	—	—	—
TaKuSuRu	—	—	—	—	—	—
ウインズ後楽園(テナント)	—	—	—	3,026	2,874	2,548
オフト後楽園(テナント)	—	—	—	1,039	989	1,038
宇宙ミュージアム TeNQ	383	293	291	205	139	139
スポドリ!	248	259	253	196	204	197
東京ドーム ローラースケートアリーナ	107	107	112	98	94	95
東京ドームボウリングセンター	375	399	416	226	226	228
MEETS PORT	1,736	1,771	1,861	3,494	3,646	4,180
TOKYO DOME CITY HALL	738	744	752	521	550	604
後楽園ホール	510	578	578	365	408	423
PRISM HALL	550	573	672	609	410	520
東京ドームホテル	14,049	13,656	13,516	1,894	1,866	1,832
Gallery AaMo	—	250	577	—	191	179



流通事業

施設名・事業名	売上高(百万円)			施設概要	
	2017年1月期	2018年1月期	2019年1月期	開場日・開業日	施設規模
shop in	7,135	7,796	8,073	1号店(新宿) 1971年 12月 1日	42店舗(2019年1月末時点)



不動産事業

施設名・事業名	売上高(百万円)			施設概要	
	2017年1月期	2018年1月期	2019年1月期	用途	施設規模
不動産の賃貸	1,571	1,570	1,579		
松戸公産アドホック新宿ビル				商業テナントビル	地下2階～地上8階 テナント11店舗
プチモールニッポ				商業テナントビル	地上2階 テナント5店舗
柿の木坂BMWビル				商業テナントビル	地下1階～地上2階
代々木イーストビル				オフィステナントビル	地上8階
松戸公産市ヶ谷ビル				オフィステナントビル	地上5階
相模原ビル				商業テナントビル	地下1階～地上2階



熱海事業

施設名・事業名	売上高(百万円)※5			施設概要	
	2017年1月期	2018年1月期	2019年1月期	開場日・開業日	施設規模
ATAMI BAY RESORT KORAKUEN	3,397	2,240	2,369	2019年 3月 28日	—
熱海後楽園ホテル				1965年 8月 1日	地上18階 客室189室
オーシャンスパ Fuua				2019年 3月 28日	泉質 カルシウム・ナトリウム塩化物泉
IZU-ICHI				2019年 3月 28日	—

			施設概要
開場日・開業日	面積等	施設規模	
1988年 3月 17日	建築面積:46,755㎡/グラウンド:13,000㎡	地下2階～地上6階 高さ 地上56.19m グラウンド 61.69m 容積 124万㎡ 収容人数(目安) 野球46,000人/コンサート55,000人	
2003年 5月 1日	敷地面積:16,000㎡/延床面積:55,500㎡	地下2階～地上9階	
2003年 5月 1日	延床面積:10,000㎡	ラクーアビル5階～9階 泉質 ナトリウム-塩化物強塩泉	
1955年 7月 9日	敷地面積:30,000㎡	アトラクション数 25種類	
2009年 4月 25日	—	ジオポリス地下1階～地上1階 収容人数 765人	
2011年 8月 19日	敷地面積:1,720㎡	プレイエリア 5箇所 対象年齢 0歳～12歳 定員 500人	
1973年 4月 20日	敷地面積:11,735㎡	地下1階～地上10階	
2019年 3月 15日	—	黄色いビル1階～2階	
2019年 3月 15日	—	黄色いビル1階	
2018年 7月 20日	—	黄色いビル5階	
1949年 4月 16日	—	黄色いビル1階～9階	
1987年 6月 14日	—	黄色いビル6階～7階	
2014年 7月 8日	フロア面積:2,600㎡	黄色いビル6階	
2013年 9月 14日	フロア面積:2,600㎡	黄色いビル3階 野球エリア、ゴルフエリア、ボウリングエリア、多目的フィールド	
2011年 12月 22日	フロア面積:1,600㎡	黄色いビル4階 40m×24mのメインリンク、ミニリンクエリア、ダンスエリア	
1973年 4月 20日	延床面積:3,600㎡	黄色いビル4階～5階 全54レーン	
2008年 3月 19日	敷地面積:6,579㎡/延床面積:21,405㎡	地下4階～地上5階	
2008年 3月 19日	フロア面積:10,000㎡/延床面積:12,300㎡	MEETS PORT地下3階～地上2階 収容人数 3,190人	
1962年 4月 16日	ホール:575㎡/展示会場:171㎡	後楽園ホールビル5階～6階 収容人数 2,005人	
1990年 12月 17日	フロア面積:2,809㎡	天井高5m 収容人数 2,085人	
2000年 6月 1日	敷地面積:15,865㎡/延床面積:105,856㎡	地下3階～地上43階 高さ155m 客室1,006室	
2017年 4月 15日	フロア面積:830㎡	天井高5m	



競輪事業

施設名・事業名	売上高(百万円) ※6			施設概要	
	2017年1月期	2018年1月期	2019年1月期	面積	施設規模
松戸競輪場の賃貸・運営および場外発売	2,112	1,686	2,077		
松戸競輪場				敷地面積:48,791㎡/建築面積:37,703㎡	競走路周長:333.33m
サテライト大和【競輪場外車券売場】				敷地面積:39,288㎡/延床面積:5,770㎡	収容人数1,319人



その他

施設名・事業名	売上高(百万円) ※7			受託施設数(件)		
	2017年1月期	2018年1月期	2019年1月期	2017年1月期	2018年1月期	2019年1月期
スポーツ施設の運営受託や生命・損害・医療保険代理店事業など	7,827	5,726	5,474	195	202	211
直営 スポーツ施設 施設概要	フィットネスクラブ東京ドーム	トレーニングマシン120台、フィットネススタジオ2室、フィットネスプール(25m×6コース、20m×2コース)、ジャグジー				
	後楽園スポーツクラブ調布	屋内温水プール(25m×15m 7コース)、マシンジム、フリーウェイト、スタジオ、ギャラリー室、スクール 会員用ロッカー、体操室、バスルーム(サウナ)、ロッカールーム、シャワー室				
	後楽園スイミングスクールひばりが丘	屋内温水プール(25m×13m)、体操室、採暖室、ロッカールーム、ギャラリー室、シャワー室				

※1 各施設の数値は東京ドームシティ事業の傾向を把握していただくものであり、主要施設のみ抽出し参考値として表示してあります。よって各施設の売上高の合計は東京ドームシティ事業の売上高とは一致しません。

※2 売上高は、社内取引を含んでいません。

※3 東京ドームシティ アトラクションズの来場者数は、アトラクションの利用者数。

※4 2018年1月期は1ヶ月の大規模改装工事による休業期間あり。

※5 みさき館・ホール棟は2016年8月31日をもって営業終了しました。

※6 2016年11月から2017年4月松戸競輪場はバンクの改修工事を実施。

※7 東京ドームホテル 札幌が2017年4月末をもって営業を終了したことに伴い、「札幌」事業は「その他」に含めております。

会社概要

商号	株式会社東京ドーム TOKYO DOME CORPORATION
本社	〒112-8575 東京都文京区後楽1丁目3番61号
電話	03-3811-2111 (代表)
URL	https://www.tokyo-dome.jp/
設立	1936年(昭和11年)12月25日
資本金	2,038百万円
従業員数	864名

株式情報

発行可能株式総数	198,000,000株
発行済株式総数	95,857,420株
株主数	23,018名
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部 証券コード: 9681
定時株主総会	毎年4月、東京にて開催
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 〒100-8233 東京都千代田区丸の内1丁目4番1号

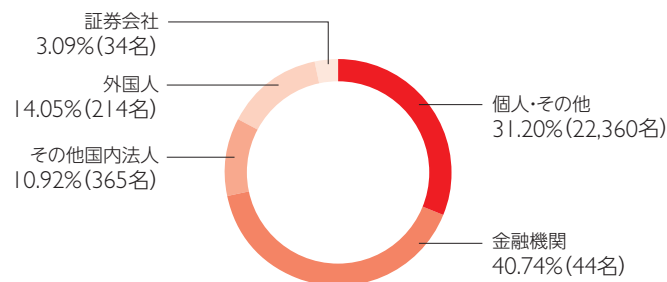
大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)*
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,748	9.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,626	6.09
株式会社みずほ銀行	4,282	4.63
富国生命保険相互会社	4,276	4.63
株式会社竹中工務店	3,343	3.62
OASIS INVESTMENTS II MASTER FUND LTD.	2,900	3.14
SMBC日興証券株式会社	1,570	1.70
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(証券口9)	1,549	1.67
ジェーピーモルガンチェースバンク385151	1,421	1.53
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(証券口5)	1,415	1.53

※ 持株比率は、自己株式(3,528,406株)を控除して計算し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

所有者別株式分布状況

※ パーセンテージは持株比率(自己株式を除く)



ホームページのご案内



株式会社東京ドーム コーポレートサイト

東京ドームグループの事業のご紹介やニュースリリース、IR情報、CSR情報などを掲載しています。

日本語版 <https://www.tokyo-dome.jp/>

英語版 <https://www.tokyo-dome.jp/english/>

東京ドームシティ公式サイト

東京ドームシティの営業のご案内を掲載しています。

日本語版 <https://www.tokyo-dome.co.jp/>

英語版 <https://www.tokyo-dome.co.jp/en/tourists/>



連結子会社（11社）

会社名	事業セグメント
株式会社東京ドームホテル	東京ドームシティ事業
株式会社東京ドーム ファシリティーズ	東京ドームシティ事業
株式会社東京ドームスポーツ	東京ドームシティ事業・その他
後樂園事業株式会社	東京ドームシティ事業
松戸公産株式会社	競輪事業・不動産事業
後樂園不動産株式会社	不動産事業
株式会社後樂園フードサービス	不動産事業
株式会社東京ドーム・ リゾートオペレーションズ	熱海事業
進商事株式会社	その他
株式会社札幌後樂園ホテル	その他
オリンピック興業株式会社	その他

持分法適用関連会社

会社名	事業セグメント
花月園観光株式会社	競輪事業
東京ケーブルネットワーク 株式会社	その他

お問い合わせ先

株式会社東京ドーム
〒112-8575 東京都文京区後楽1丁目3番61号
経営本部 広報IR室
TEL: 03-3817-6029 FAX: 03-3817-6022

主要なグループ会社のご紹介

株式会社東京ドームホテル

住所 〒112-8562 東京都文京区
後楽1丁目3番61号

電話 03-5805-2111（代表）

設立 1999年2月1日

主な事業内容 ホテルの経営



株式会社東京ドームファシリティーズ

住所 〒112-0004 東京都文京区
後楽1丁目3番61号

電話 03-3817-6164

設立 1985年2月1日

主な事業内容 清掃管理請負業、ビル管理全般、
不動産取引仲介業務



株式会社東京ドームスポーツ

住所 〒112-0003 東京都文京区
春日1-1-1 ラクーアビル7F

電話 03-3817-4001

設立 1981年3月31日

主な事業内容 スポーツクラブ・温泉施設などの
運営・管理およびその受託



松戸公産株式会社

住所 〒271-0091 千葉県松戸市
本町8番地の3

電話 047-366-2121（代表）

設立 1949年5月16日

主な事業内容 競輪場の賃貸と運営受託、不動産
の売買・仲介・賃貸および管理



株式会社東京ドーム・リゾートオペレーションズ

住所 〒413-8626 静岡県熱海市
和田浜南町10-1

電話 0557-82-0121（代表）

設立 2000年3月17日

主な事業内容 ホテル経営と温泉施設の運営





株式会社 東京ドーム

〒112-8575 東京都文京区後楽1丁目3番61号

TEL: 03-3811-2111 (代表)

URL: <https://www.tokyo-dome.jp/>

